

平成 26 年度

男女共同参画に関する市民意識調査業務

報 告 書

静岡市男女参画・市民協働推進課

目次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の方法	1
3. 回収率	1
II 調査結果	3
1. 回答者属性	3
性別	3
年齢	3
居住地	4
職業	4
未既婚	5
配偶者職業	5
子どもの有無	6
一番下の子ども(末子)	6
2. 男女共同参画について	7
問1 「男女共同参画推進条例」についての認知	7
問2 男女平等に関する評価	8
問3 「ワーク・ライフ・バランス」の認知状況	13
問4 家事・仕事の時間	14
問5 女性が職業を持つことについての考え	16
問6 男性の「育児休暇」「介護休暇」取得についての考え	17
問7 世界男女平等ランキングの認知状況	18
問8 DV・セクハラ被害の相談先認知状況	19
問9 女性の健康と自らそれを守る権利に対する考え	20
III 自由意見	21
IV 集計表	35
付録 調査票	

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査の目的

本市では、女性も男性もその性別にこだわることなく、それぞれの個性と能力を発揮し、家庭、地域、職場などあらゆるところに共に参画し、責任を担いあう社会、『男女共同参画社会』の実現を目指しており、本調査は今後の施策推進の方向性を検討するための基礎資料とする。

2. 調査の方法

- (1) 調査対象 静岡市在住の男女 18 歳以上
- (2) 標本数 3000 人
- (3) 抽出方法 住民基本台帳から 18 歳以上の男女を無作為抽出
- (4) 調査方法 郵送調査・自記式アンケート
- (5) 調査期間 平成 26 年 5 月 2 日(金)～平成 26 年 5 月 27 日(火)

3. 回収率

配布数	有効回収数	有効回収率
3,000 票	1,225 票	40.8%

この冊子のよみかた

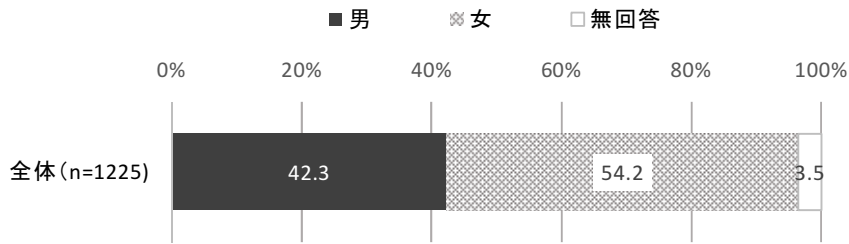
1. 結果は百分率で表示し、小数点第2位を四捨五入しています。このため百分率の合計が 100%にならないことがあります。
2. 数値やグラフ中の「N」は回答者総数を示し、回答比率はこれを 100%として算出しています。
3. 複数回数をしてもよい設問では、百分率の合計が 100%を超える場合があります。

II 調查結果

II 調査結果

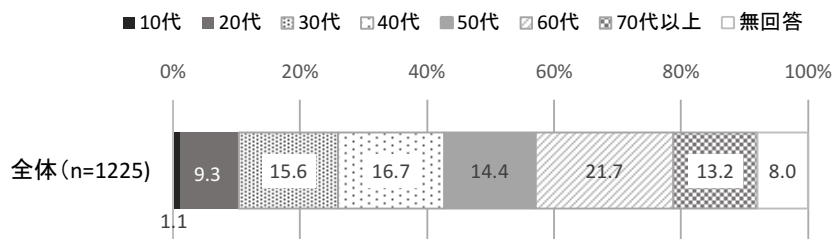
1. 回答者属性

【性別】



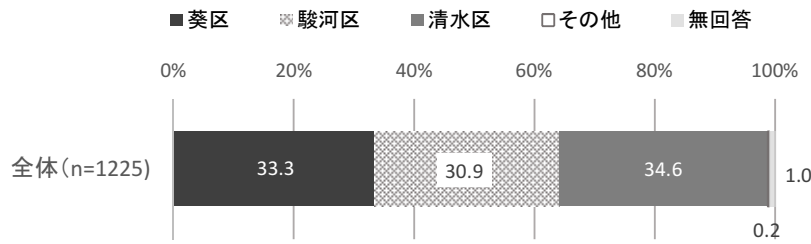
上段:実数 下段:%		Q2.1性別			
		全 体	男	女	無回答
性別・年代別	全 体	1225	518	664	43
		100.0	42.3	54.2	3.5
	10代・20代	127	61	59	7
		100.0	48.0	46.5	5.5
	30代	191	77	113	1
		100.0	40.3	59.2	0.5
	40代	205	92	108	5
		100.0	44.9	52.7	2.4
50代	176	78	97	1	
	100.0	44.3	55.1	0.6	
60代	266	113	145	8	
	100.0	42.5	54.5	3.0	
70代以上	162	75	82	5	
	100.0	46.3	50.6	3.1	

【年齢】

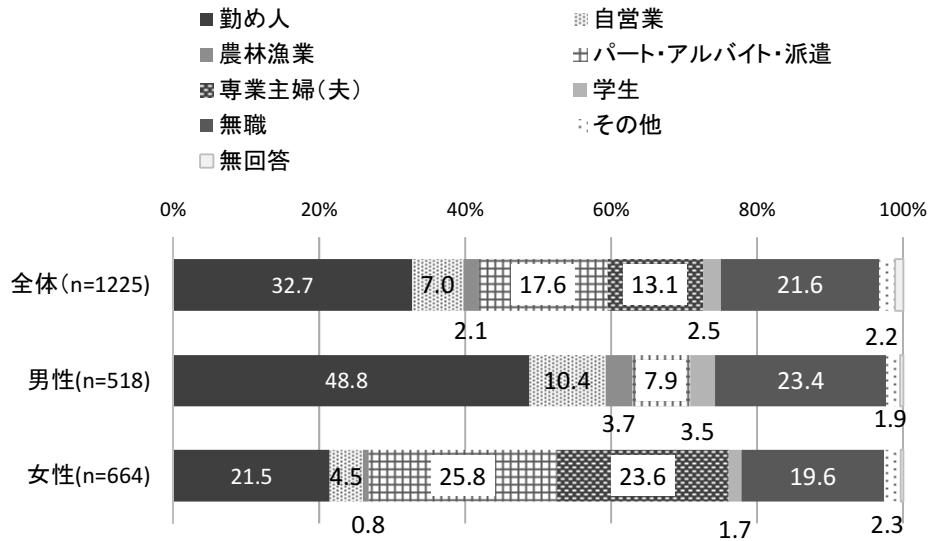


上段:実数 下段:%		Q2.2年齢								
		全 体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
性別	全 体	1225	13	114	191	205	176	266	162	98
		100.0	1.1	9.3	15.6	16.7	14.4	21.7	13.2	8.0
	男性	518	4	57	77	92	78	113	75	22
		100.0	0.8	11.0	14.9	17.8	15.1	21.8	14.5	4.2
	女性	664	6	53	113	108	97	145	82	60
		100.0	0.9	8.0	17.0	16.3	14.6	21.8	12.3	9.0

【居住地】

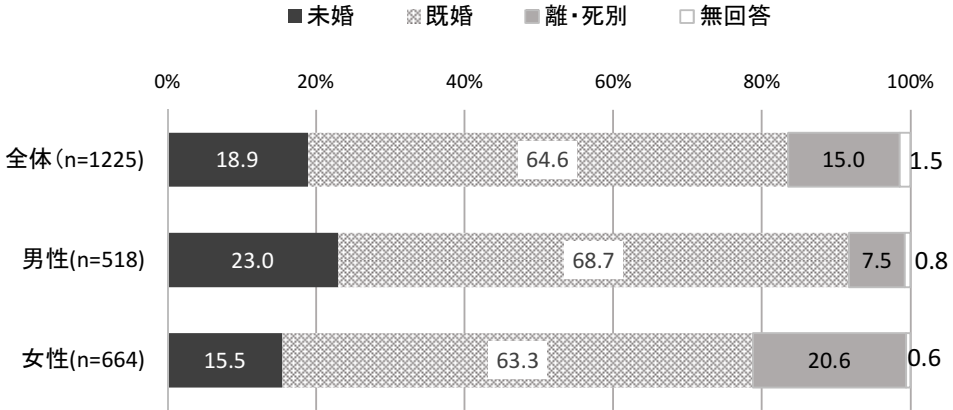


【職業】



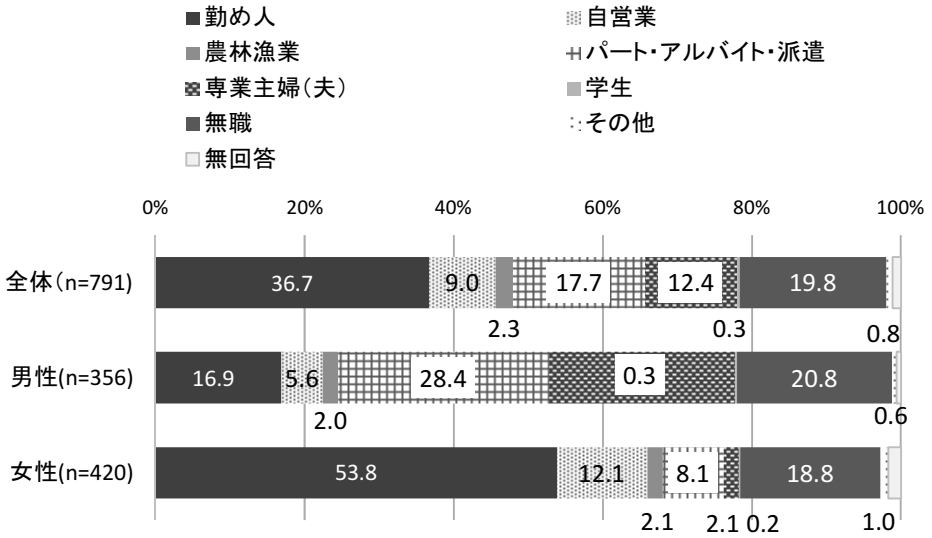
上段: 実数 下段: %		Q2.4職業									
		全 体	勤め人 (正社員、公務員など)	自営業	農林漁業	パート・アルバイト・派遣等の 非正規雇用者	専業主婦 (夫)	学生	無職	その他	無回答
性別・年代別	全 体	1225	401	86	26	216	160	31	264	27	14
		100.0	32.7	7.0	2.1	17.6	13.1	2.5	21.6	2.2	1.1
	男性	518	253	54	19	41	0	18	121	10	2
		100.0	48.8	10.4	3.7	7.9	0.0	3.5	23.4	1.9	0.4
	女性	664	143	30	5	171	157	11	130	15	2
		100.0	21.5	4.5	0.8	25.8	23.6	1.7	19.6	2.3	0.3
	10代・20代	127	65	0	0	16	4	29	7	6	0
		100.0	51.2	0.0	0.0	12.6	3.1	22.8	5.5	4.7	0.0
	30代	191	105	9	2	38	27	0	7	3	0
		100.0	55.0	4.7	1.0	19.9	14.1	0.0	3.7	1.6	0.0
40代	205	101	15	1	46	24	0	13	5	0	
	100.0	49.3	7.3	0.5	22.4	11.7	0.0	6.3	2.4	0.0	
50代	176	85	10	3	44	22	1	8	3	0	
	100.0	48.3	5.7	1.7	25.0	12.5	0.6	4.5	1.7	0.0	
60代	266	40	37	8	57	54	0	67	2	1	
	100.0	15.0	13.9	3.0	21.4	20.3	0.0	25.2	0.8	0.4	
70代以上	162	3	13	9	11	20	1	100	4	1	
	100.0	1.9	8.0	5.6	6.8	12.3	0.6	61.7	2.5	0.6	

【未既婚】

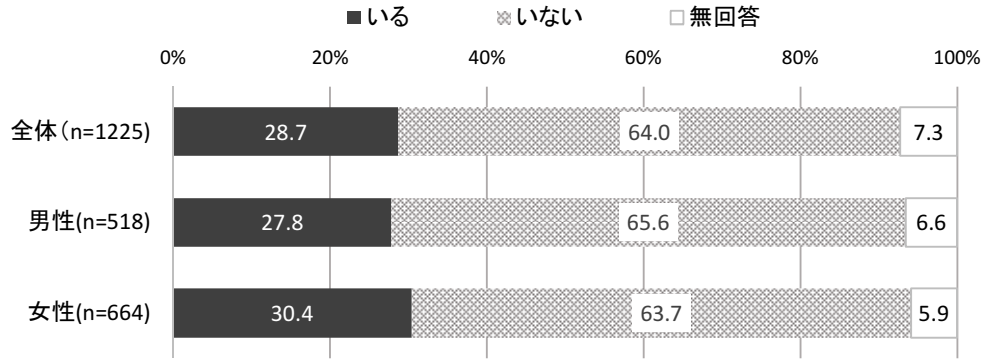


上段:実数 下段:%		Q2.5未・既婚				
		全 体	未婚	既婚	離・死別	無回答
性別・年代別	全 体	1225	232	791	184	18
		100.0	18.9	64.6	15.0	1.5
	男性	518	119	356	39	4
		100.0	23.0	68.7	7.5	0.8
	女性	664	103	420	137	4
		100.0	15.5	63.3	20.6	0.6
	10代・20代	127	104	22	1	0
		100.0	81.9	17.3	0.8	0.0
	30代	191	44	140	7	0
		100.0	23.0	73.3	3.7	0.0
40代	205	41	148	16	0	
	100.0	20.0	72.2	7.8	0.0	
50代	176	22	139	15	0	
	100.0	12.5	79.0	8.5	0.0	
60代	266	9	207	49	1	
	100.0	3.4	77.8	18.4	0.4	
70代以上	162	8	98	50	6	
	100.0	4.9	60.5	30.9	3.7	

【配偶者職業／既婚者ベース】

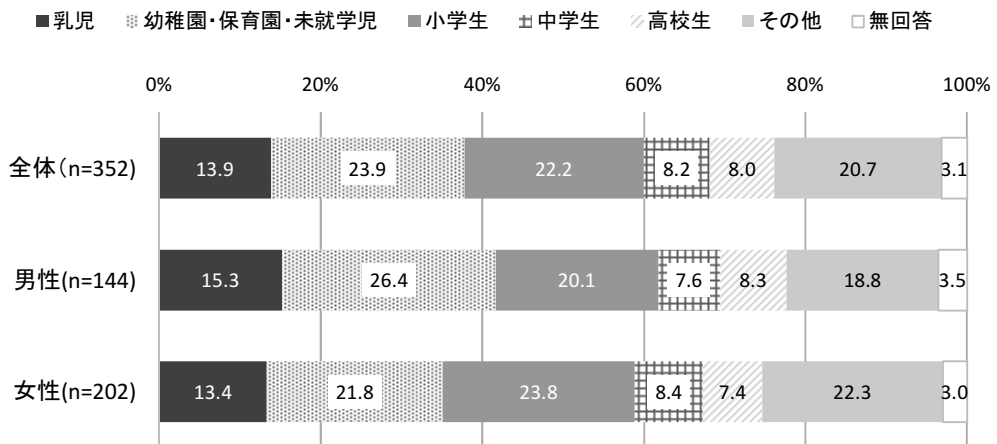


【子どもの有無】



上段:実数 下段:%		Q2.7子どもの有無			
		全 体	いる	いない	無回答
性別・年代別	全 体	1225	352	784	89
		100.0	28.7	64.0	7.3
	男性	518	144	340	34
		100.0	27.8	65.6	6.6
	女性	664	202	423	39
		100.0	30.4	63.7	5.9
	10代・20代	127	14	101	12
		100.0	11.0	79.5	9.4
	30代	191	113	75	3
		100.0	59.2	39.3	1.6
40代	205	122	76	7	
	100.0	59.5	37.1	3.4	
50代	176	47	124	5	
	100.0	26.7	70.5	2.8	
60代	266	38	208	20	
	100.0	14.3	78.2	7.5	
70代以上	162	14	131	17	
	100.0	8.6	80.9	10.5	

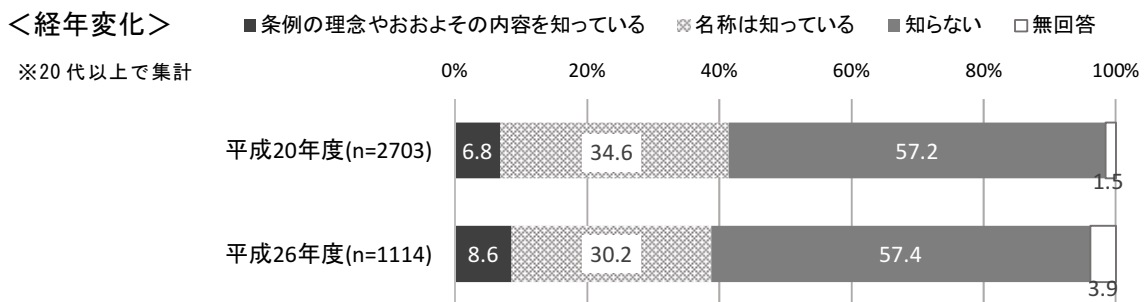
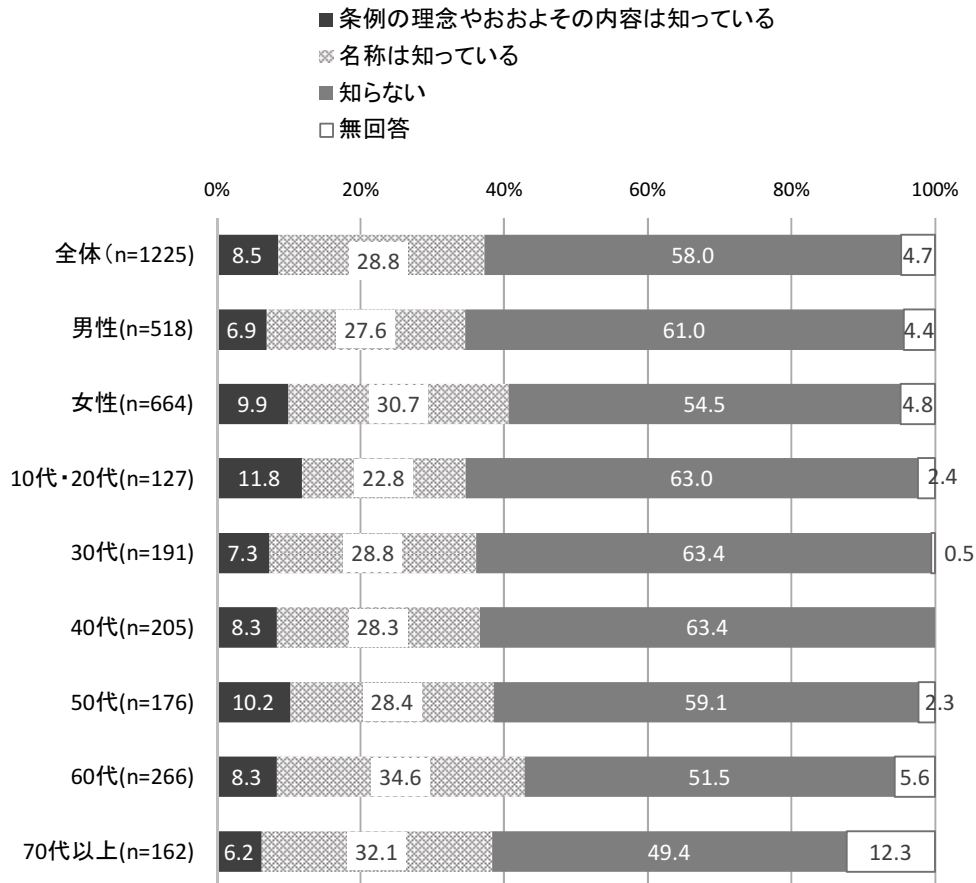
【一番下の子ども／子どものいる人ベース】



2. 男女共同参画について

(1)「男女共同参画推進条例」についての認知

問1 あなたは「静岡市男女共同参画推進条例」について、どの程度知っていますか。(○は1つ)

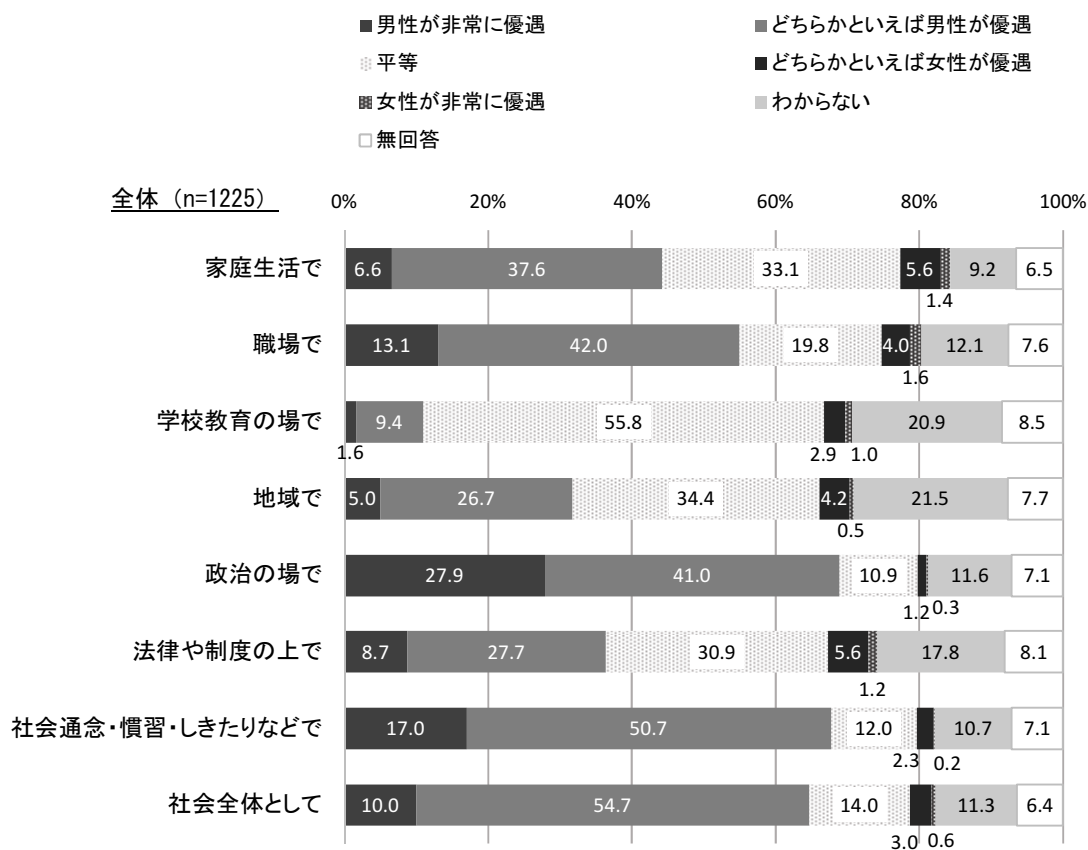


「静岡市男女共同参画推進条例」について「内容を知っている」と回答した人は全体の8.5%。「名称は知っている」(28.5%)を合わせると、4割が当条例の存在を認知している。性別、年代間において認知状況に大きな差はない。

平成20年度調査との経年変化でみると、認知状況に大きな変化はみられない。

(2) 男女平等に関する評価

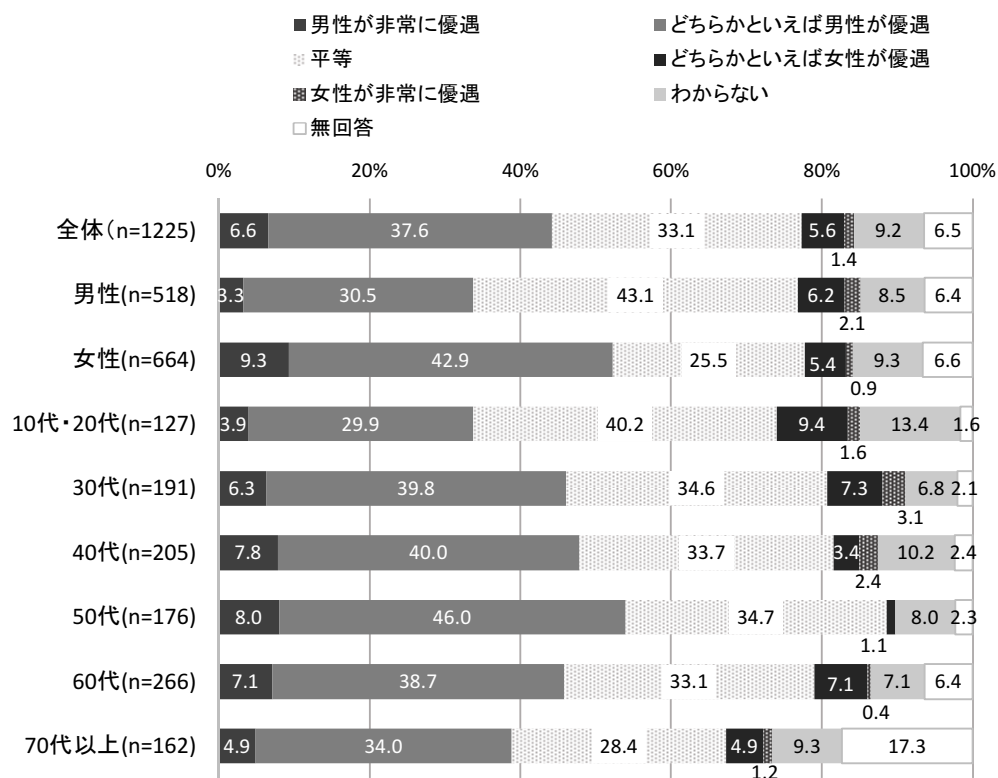
問2 あなたは、次の分野で男女は平等になっていると思いますか。(項目ごとに○は1つずつ)



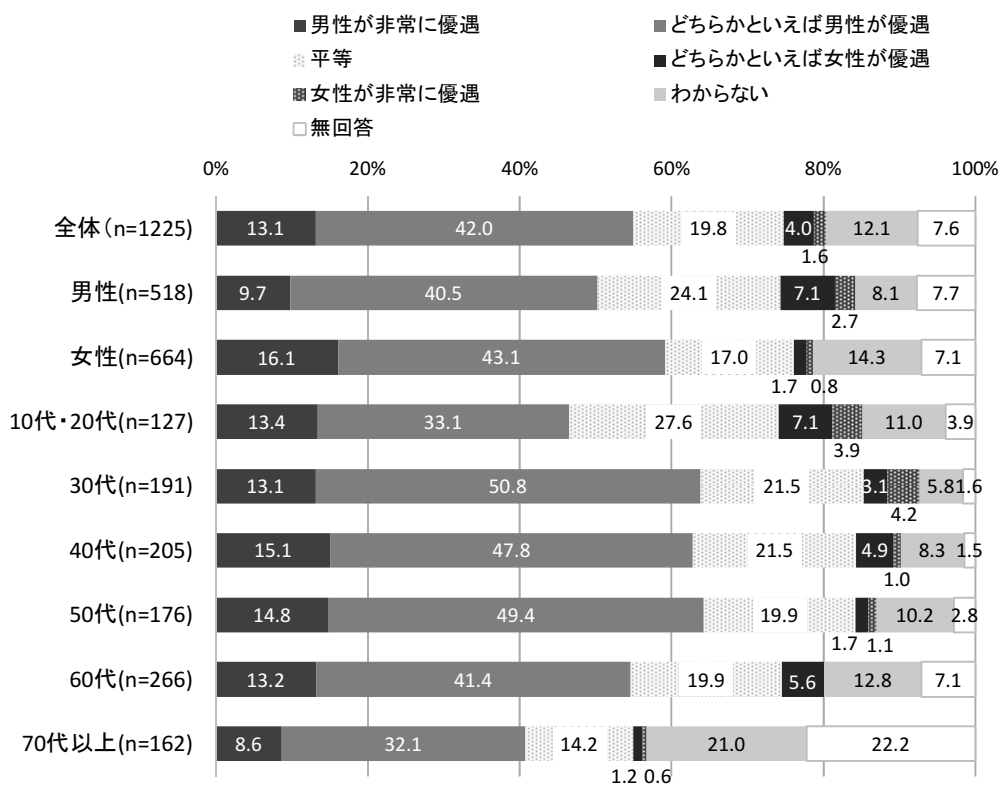
各場面における男女平等に関する評価をみると、「平等」と回答した人の割合が最も高いのは「学校教育現場」の55.8%。そのほかの場面においては、圧倒的に男性が優遇と回答している人の割合が高くなっている。特に「政治の場」においては「男性が非常に優遇」が27.9%と高い数値となっている。

男女間で比較すると、各場面ともに男性よりも女性において、男性が優遇と考える人の割合が高くなっている。また年代間においては、特に30代から50代で男性が優遇とみる割合が高い。

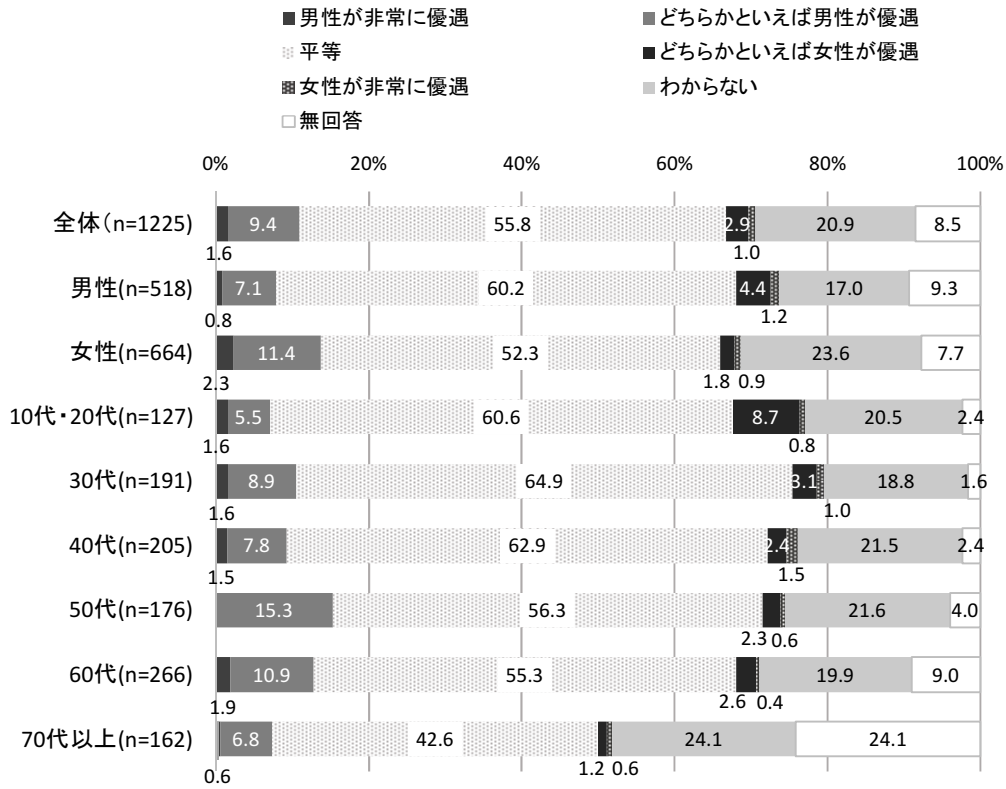
【家庭生活で】



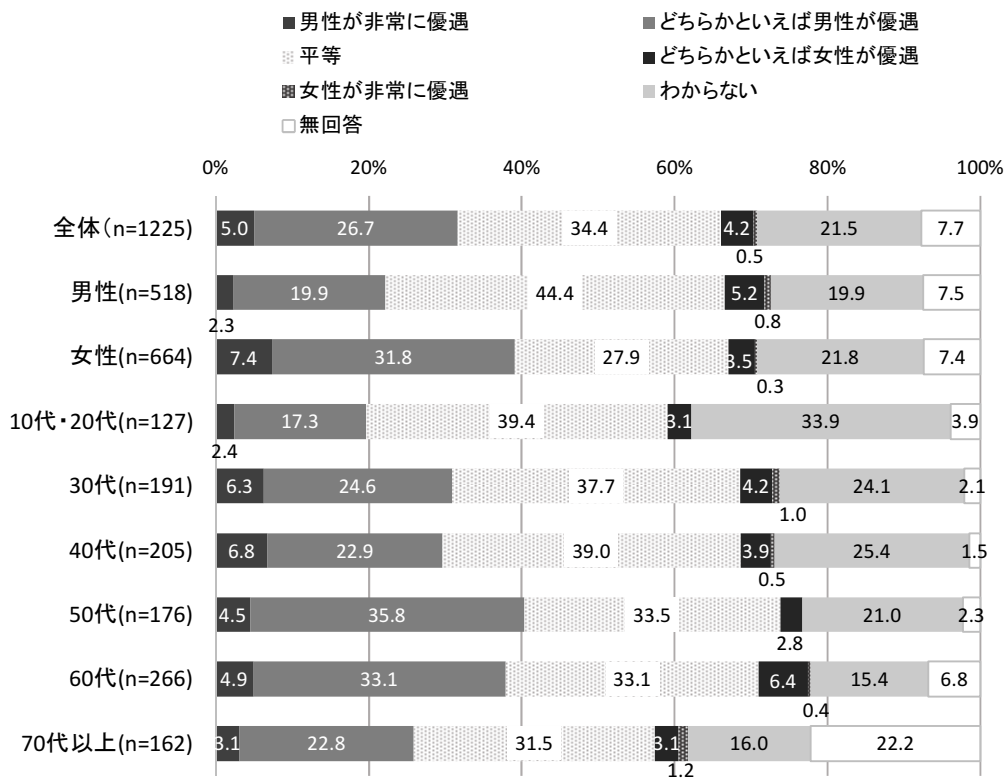
【職場で】



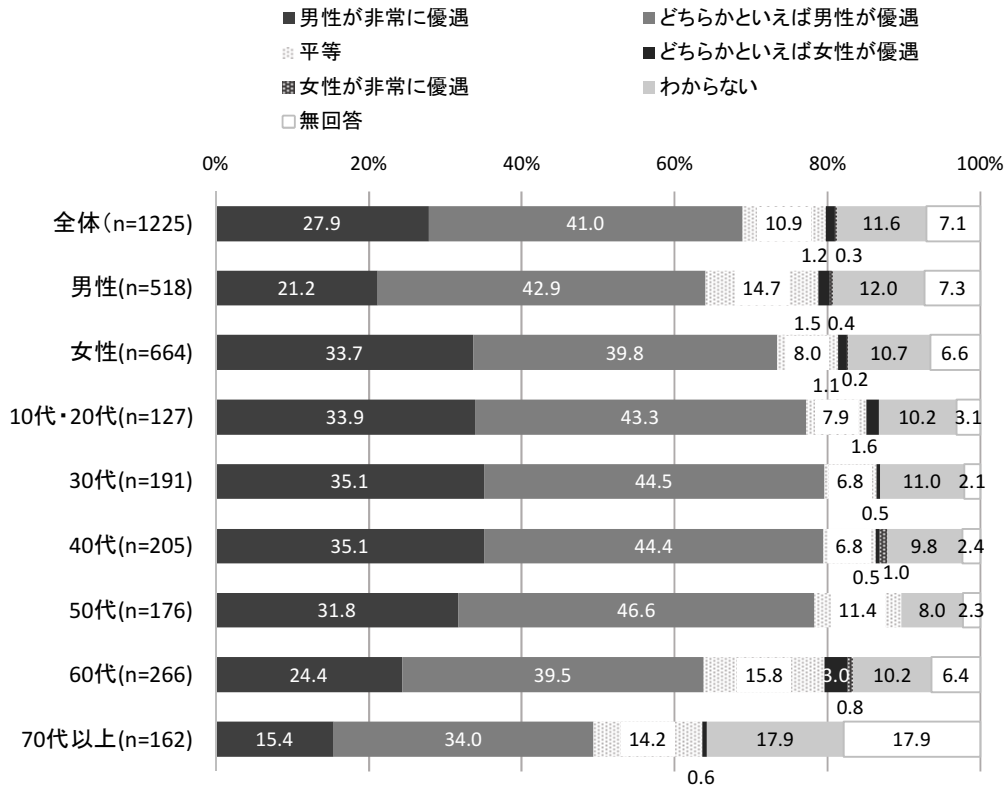
【学校教育の場で】



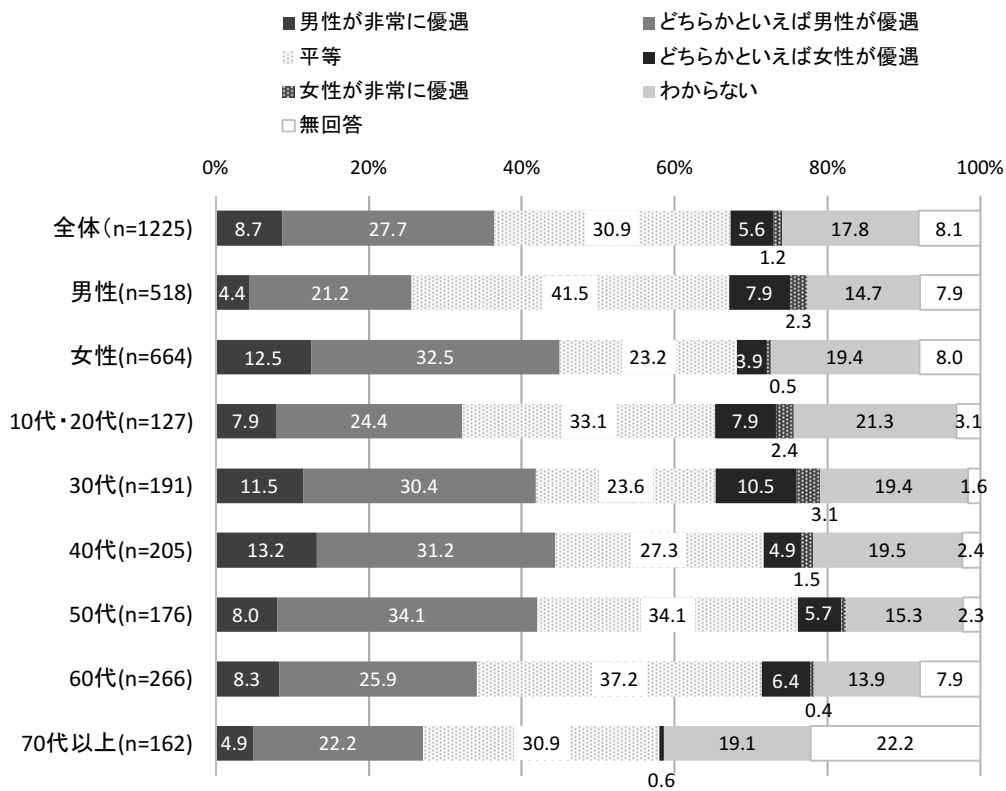
【地域で】



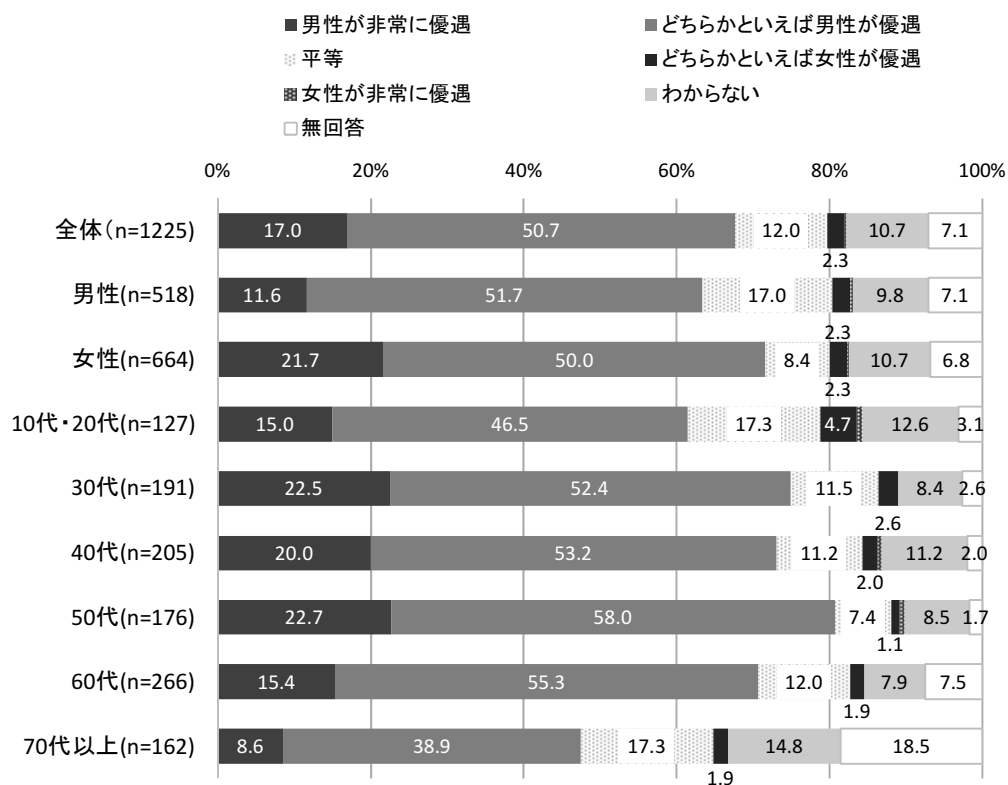
【政治の場で】



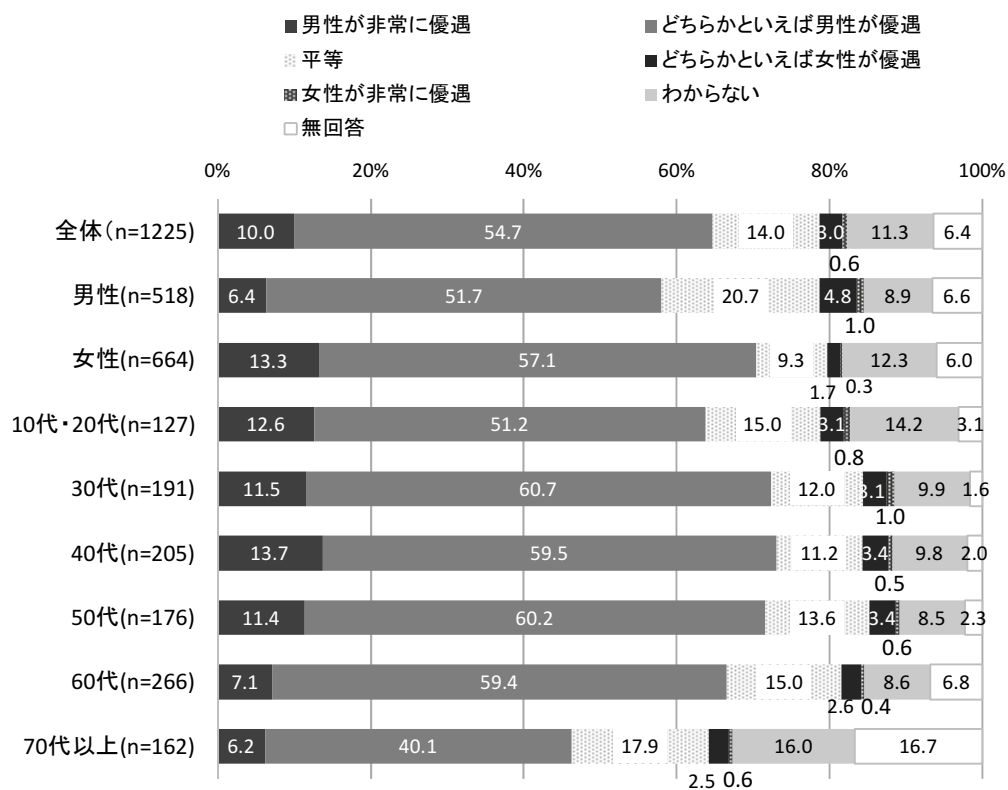
【法律や制度の上で】



【社会通念・慣習・しきたりなどで】

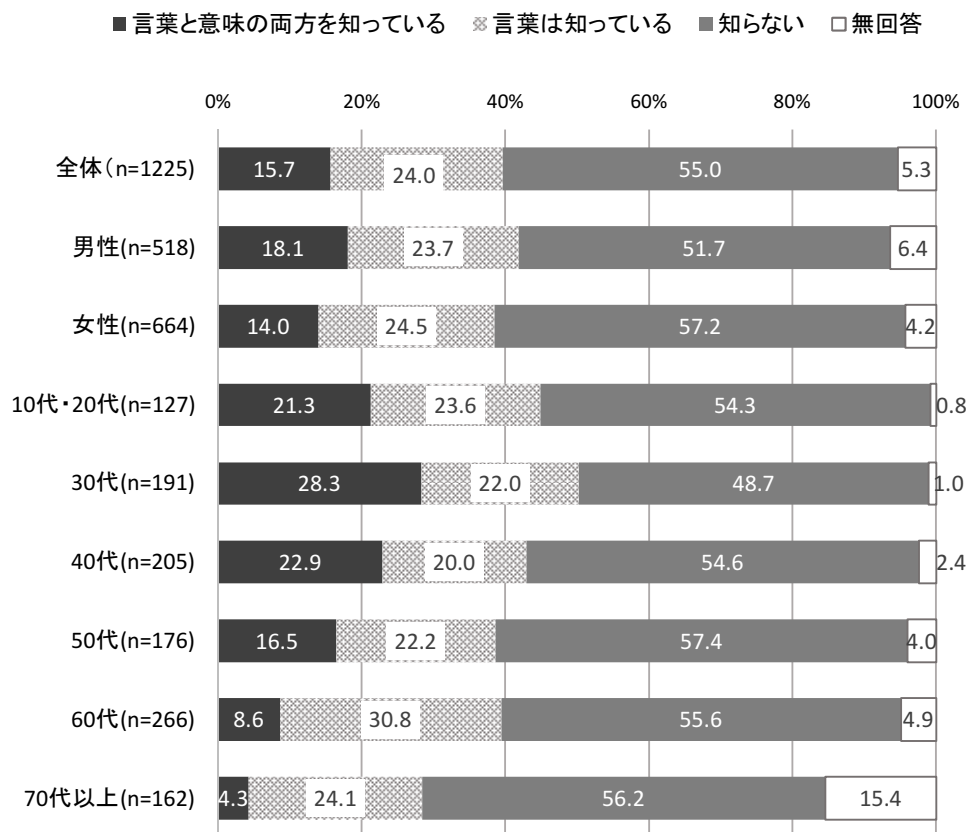


【社会全体として】



(3)「ワーク・ライフ・バランス」の認知状況

問3 あなたは「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)」について、どの程度知っていますか。(○は1つ)

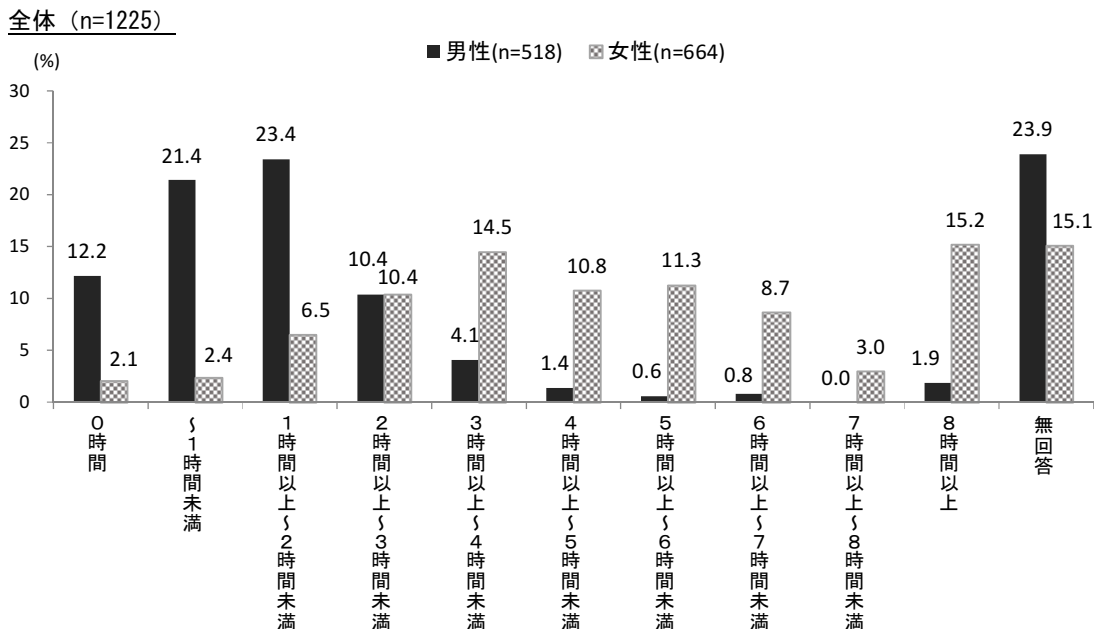


「ワーク・ライフ・バランス」について「言葉と意味の両方を知っている」と回答した人は全体の 15.7%。「言葉は知っている」は 24.0%。男女間では認知状況に大きな差はみられない。年代間でみると、30代において「言葉と意味の両方を知っている」が 28.3%と最も高い数値となっており、年代を追うごとにこの割合が低くなっている。

(4)家事・仕事の時間

問4 あなたが1日に行う家事(育児や介護を含む)の時間と、仕事(収入を得るための労働)の時間は、それぞれ平均どの位ですか。()内に時間をお書きください。(数値を記入)

【家事の時間】



<女性の就業有無別>

上段:実数 下段:%	Q04.1 一日の家事の時間											
	全体	0時間	～1時間未満	1時間以上～2時間未満	2時間以上～3時間未満	3時間以上～4時間未満	4時間以上～5時間未満	5時間以上～6時間未満	6時間以上～7時間未満	7時間以上～8時間未満	8時間以上	無回答
女性・全体	664	14	16	43	69	96	72	75	58	20	101	100
	100.0	2.1	2.4	6.5	10.4	14.5	10.8	11.3	8.7	3.0	15.2	15.1
女性・有職	349	4	13	34	51	65	43	40	34	12	35	18
	100.0	1.1	3.7	9.7	14.6	18.6	12.3	11.5	9.7	3.4	10.0	5.2
女性・無職	298	10	2	8	18	31	26	35	22	8	63	75
	100.0	3.4	0.7	2.7	6.0	10.4	8.7	11.7	7.4	2.7	21.1	25.2

<経年変化> ※20代以上で集計 ※有職者には自営業、農業、パート・アルバイト・派遣も含む

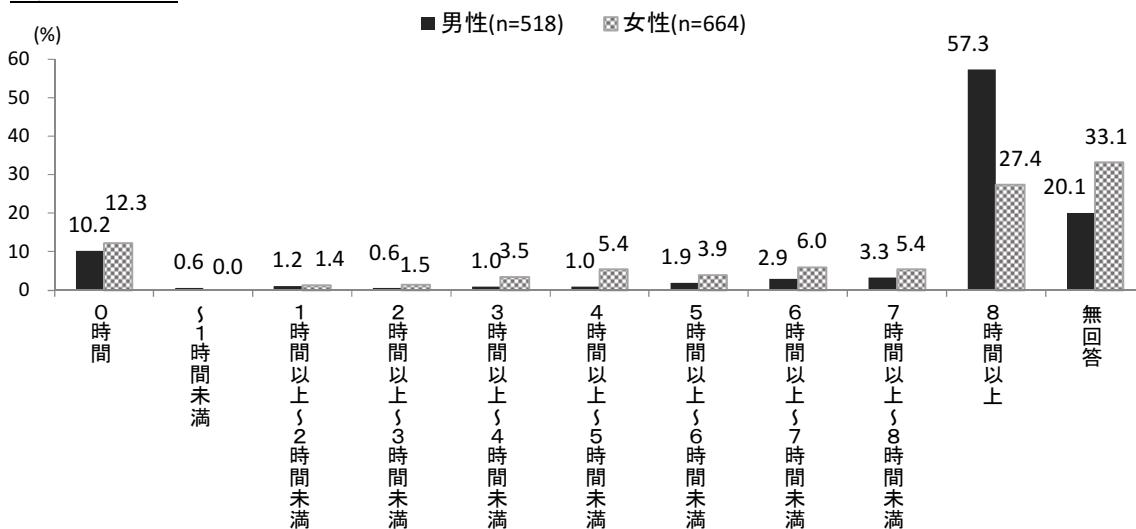
(平均時間)	女性・有職者
平成20年度	3時間23分
平成26年度	4時間6分

1日あたりの「家事の時間」については、男性では「1時間以上～2時間未満」が23.4%でピークとなっており、2時間未満が男性全体の約6割を占める。一方、女性においては「3時間以上～4時間未満」が14.5%でピークとなっているが、「8時間以上」が15.2%にのぼる。女性の有職者と無職者と比較すると、有職者においては「3時間以上～4時間未満」が18.6%で最も高くなっている。無職者においては「8時間以上」が21.1%と高く、5時間以上を家事に費やしている人が4割を占めている。

女性の有職者における家事時間について平成20年度からの経年変化をみると、30分程度の増加がみられる。

【仕事の時間】

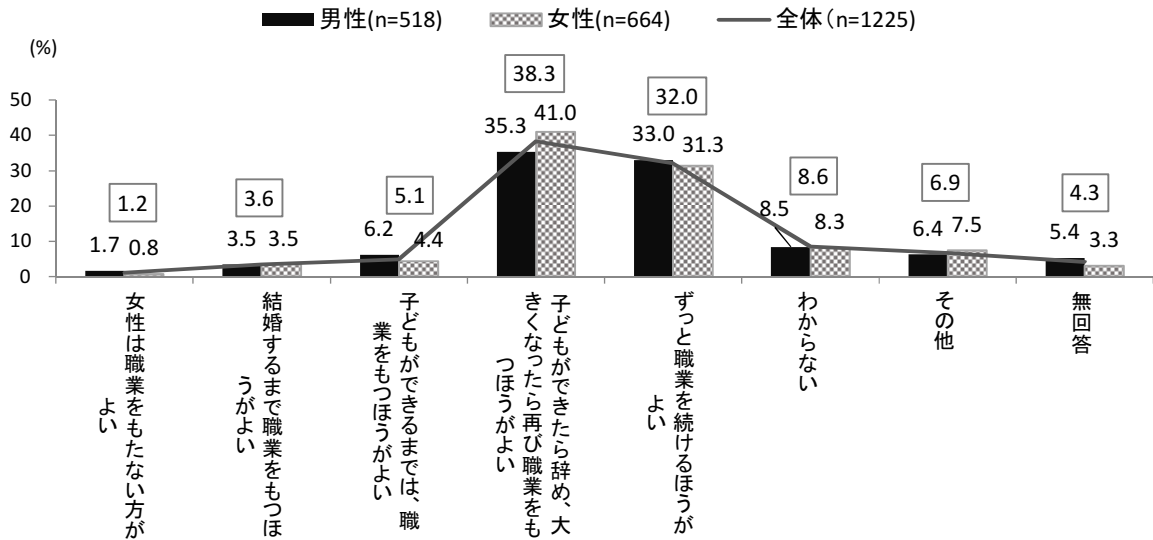
全体 (n=1225)



1日あたりの「仕事の時間」については、男性では「8時間以上」が57.3%を占めている。女性においては、「8時間以上」が27.4%となっており、それ以下の時間についてはばらつきがみられる。

(5) 女性が職業を持つことについての考え

問5 一般的に女性が職業を持つことについて、どう考えますか。(〇は1つ)



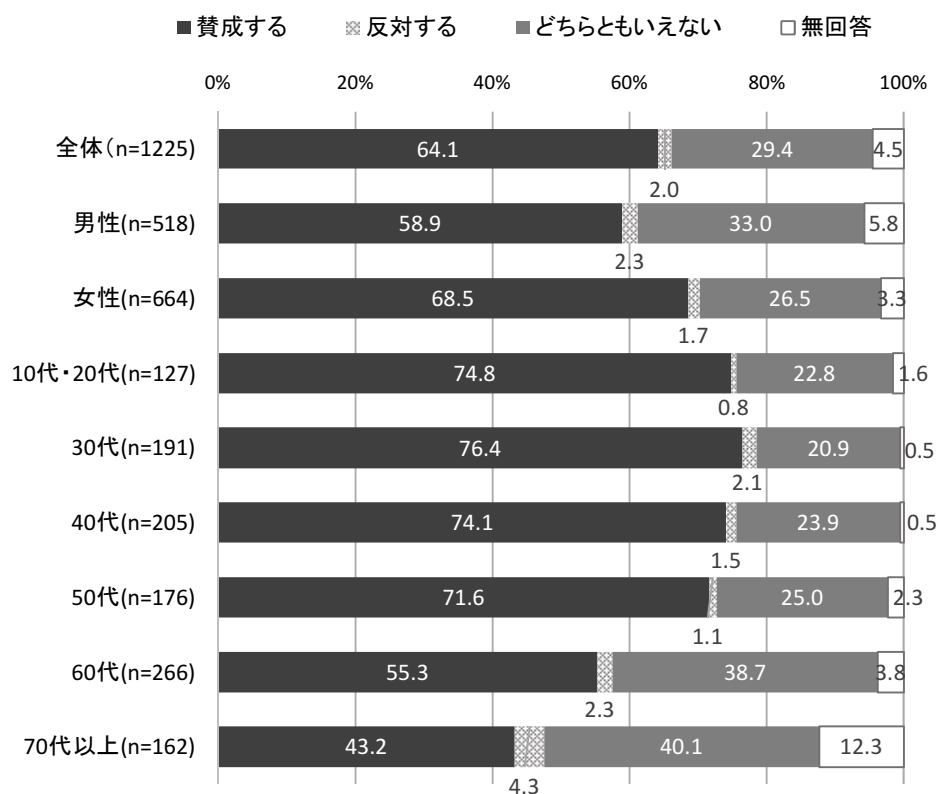
		Q05 一般的に女性が職業を持つことについてどう考えるか								
		全 体	女性は職業をもたない方がよい	結婚するまで職業をもつほうがよい	子どもができるまでは、職業をもつほうがよい	子どもができたら辞め、大きくなったら再び職業をもつほうがよい	ずっと職業を続けるほうがよい	わからない	その他	無回答
上段:実数	全 体	1225	15	44	63	469	392	105	84	53
	下段:%	100.0	1.2	3.6	5.1	38.3	32.0	8.6	6.9	4.3
性別	男性	518	9	18	32	183	171	44	33	28
		100.0	1.7	3.5	6.2	35.3	33.0	8.5	6.4	5.4
年代別	女性	664	5	23	29	272	208	55	50	22
		100.0	0.8	3.5	4.4	41.0	31.3	8.3	7.5	3.3
10代・20代		127	1	5	8	51	40	9	11	2
		100.0	0.8	3.9	6.3	40.2	31.5	7.1	8.7	1.6
30代		191	4	3	14	61	69	18	20	2
		100.0	2.1	1.6	7.3	31.9	36.1	9.4	10.5	1.0
40代		205	0	9	8	68	73	24	21	2
		100.0	0.0	4.4	3.9	33.2	35.6	11.7	10.2	1.0
50代		176	2	5	7	68	64	11	16	3
		100.0	1.1	2.8	4.0	38.6	36.4	6.3	9.1	1.7
60代		266	1	7	11	122	82	20	11	12
		100.0	0.4	2.6	4.1	45.9	30.8	7.5	4.1	4.5
70代以上		162	4	9	9	69	37	11	4	19
		100.0	2.5	5.6	5.6	42.6	22.8	6.8	2.5	11.7

女性が職業を持つことについて、全体では「子どもができたら辞め、大きくなったら再び職業を持つほうがよい」と考える人の割合が 38.3%と最も高くなっている。次いで「ずっと職業を続けるほうがよい」が 32.0%となっており、7 割の人が女性が仕事を続けることに肯定的な考えを持っている。

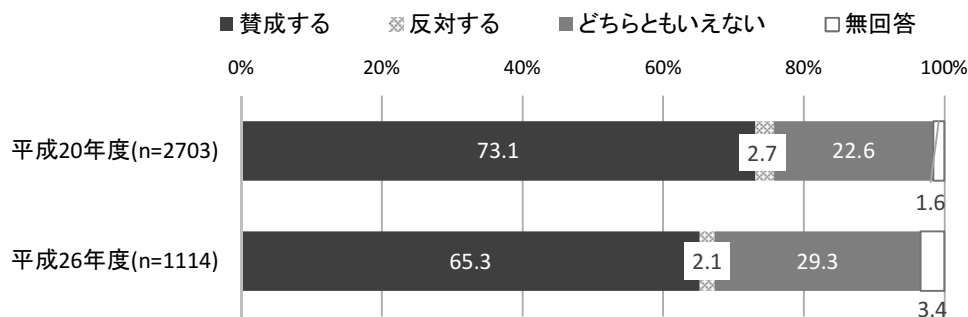
男女間で比較すると、「子どもができたら辞め、大きくなったら再び職業を持つほうがよい」と考える人は男性よりも女性でやや高めの傾向になっているものの、大きな差はみられない。年代間においては、30 代、40 代においては「ずっと職業を続けるほうがよい」が最も高い数値となっている。

(6) 男性の「育児休暇」「介護休暇」取得についての考え

問6 男性が「育児休暇」「介護休暇」を取ることに、どう思いますか。(○は1つ)



<経年変化> ※20代以上で集計



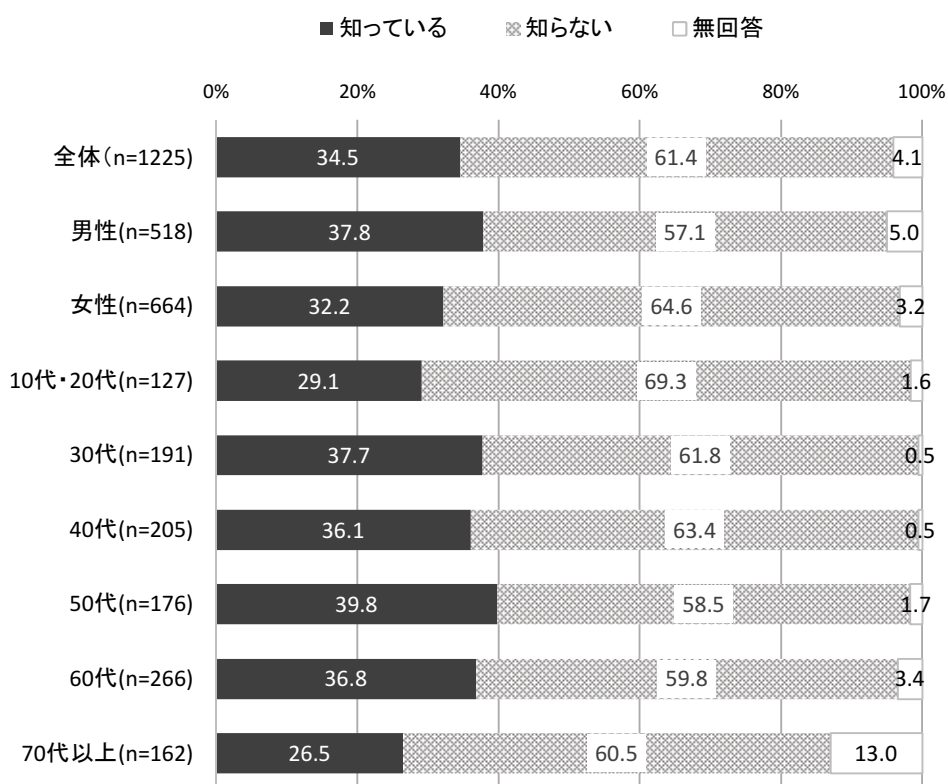
男性の「育児休暇」「介護休暇」取得については、「賛成」が 64.1%、「反対」が 2.0%で賛成派が多数を占めている。

男女間でみると、特に女性で「賛成」の割合が 68.5%と高くなっている。年代間は、10代から50代では7割が賛成派となっているが、60代、70代と年代を追うごとに賛成派が少なくなる。

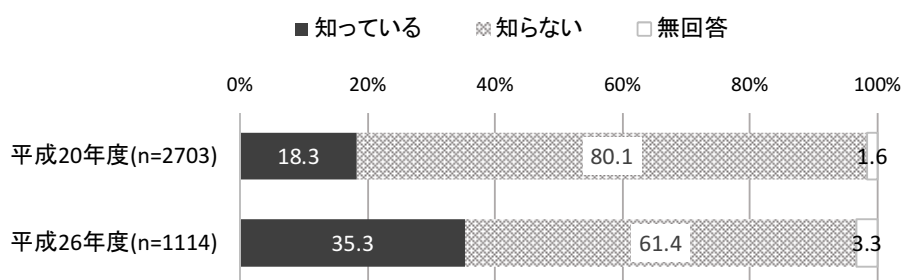
平成20年度からの経年変化でみると、「賛成」の割合はマイナス 7.8%とポイントを落としてしており、一方で「どちらともいえない」がプラス 6.7%と増加している。

(7)世界男女平等ランキングの認知状況

問7 社会における女性の活躍状況について、国際機関が各国を順位づけしていることを知っていますか。(〇は1つ)



<経年変化> ※20代以上で集計



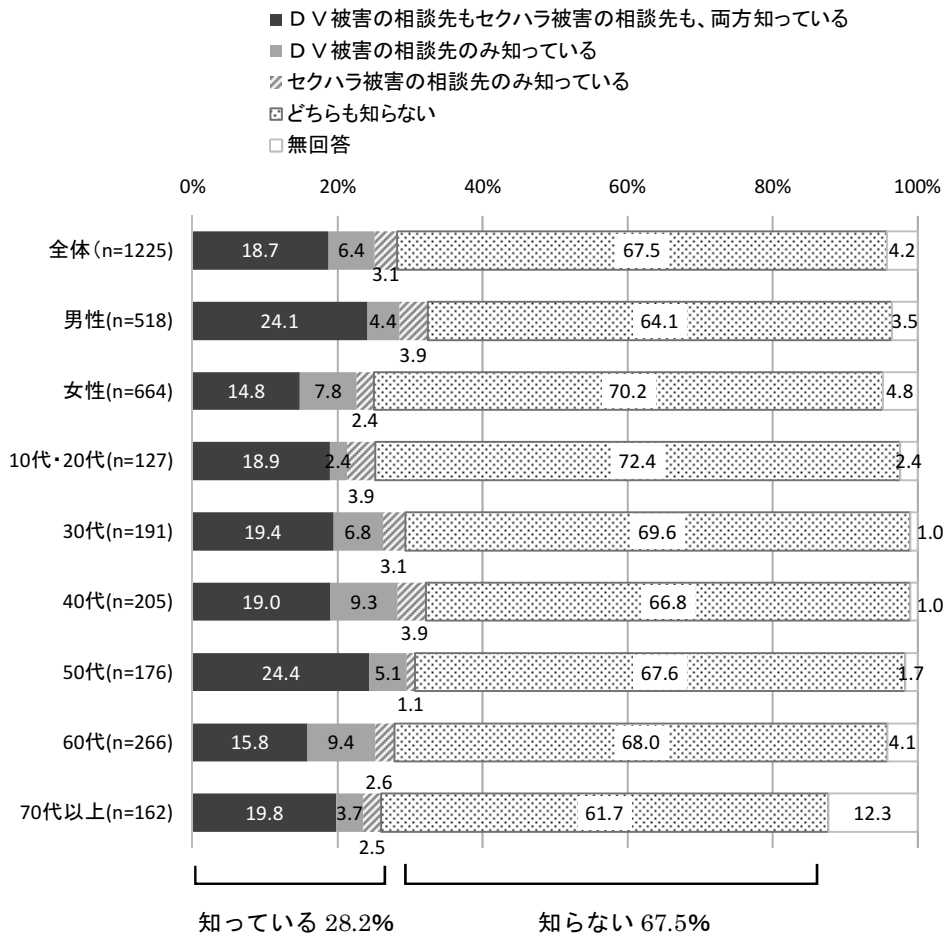
世界男女平等ランキングの認知状況を見ると、「知っている」は全体の34.5%。

女性よりも男性において認知率が高く、女性が32.2%に対し、男性は37.8%となっている。また、年代間でみると、30代から60代で認知率が高くなっており、10代・20代および70代以上ではやや低めで3割を下回っている。

平成20年度との経年変化をみると、「知っている」は17ポイント増加。

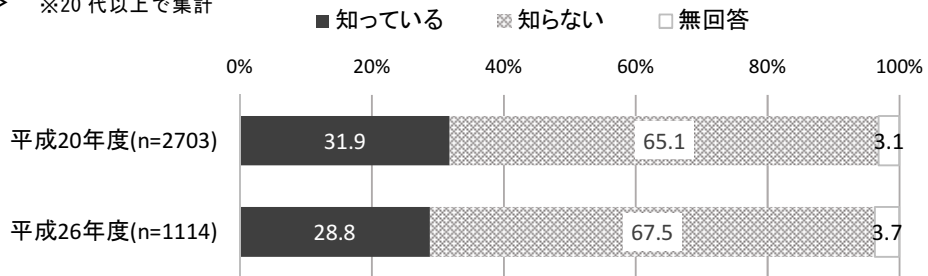
(8)DV・セクハラ被害の相談先認知状況

問8 自分や知り合いがDVやセクハラ被害に遭ったとき、どこに相談すればよいか知っていますか。(〇は1つ)



<経年変化>

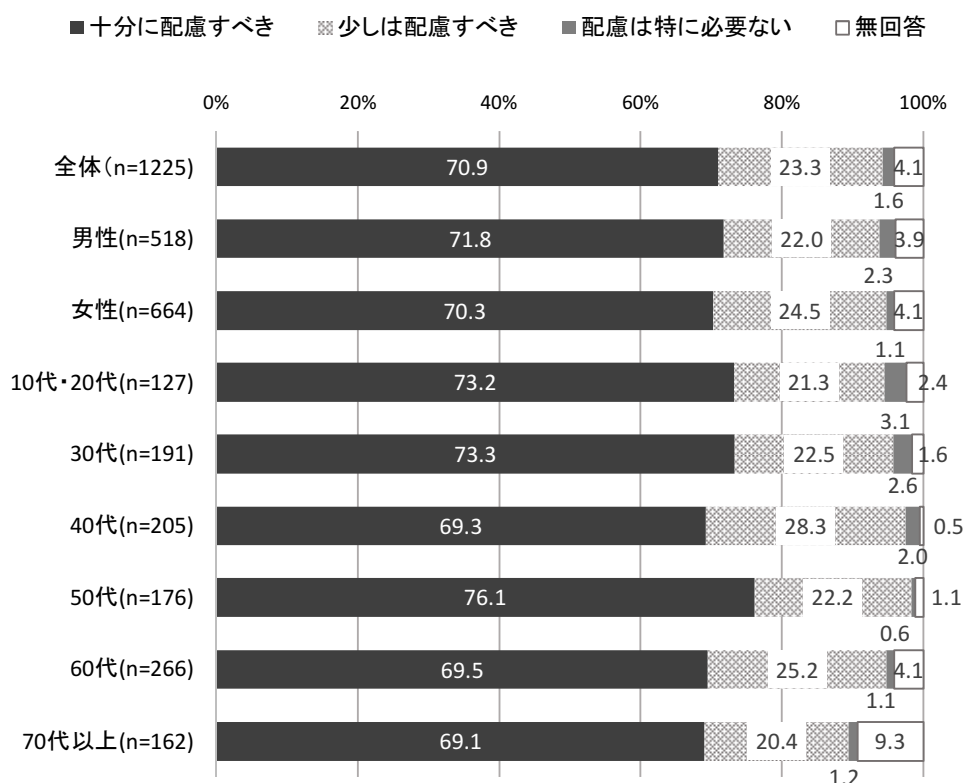
※20代以上で集計



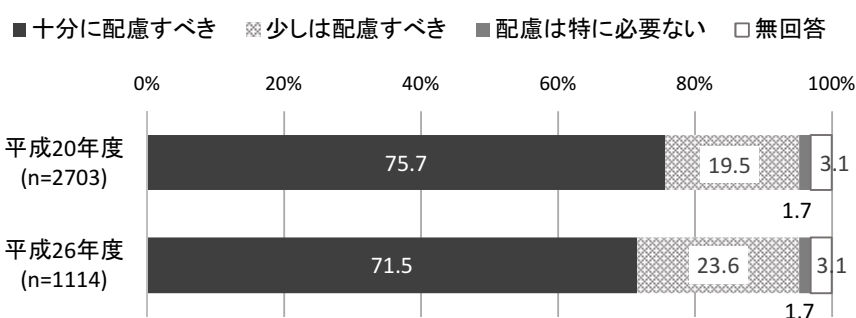
DVおよびセクハラいずれかの相談先を知っている人は全体の28.2%。女性よりも男性で認知率が高くなっている。平成20年度からの経年変化をみると、認知率は31.9%から28.8%とややポイントを落としている。

(9) 女性の健康と自らそれを守る権利に対する考え

問9 女性のからだには妊娠や出産のための仕組みが備わっており、さまざまな女性特有の問題を心身に抱え込みがちです。そのために女性の健康と自らそれを守る権利に対し周囲の理解が求められていますが、あなたはそれについてどう思いますか。(〇は1つ)



<経年変化> ※20代以上で集計



女性の健康と自らそれを守る権利については、「十分に配慮すべき」と考える人は全体の70.9%、「少しは配慮すべき」23.3%、「配慮は特に必要ない」1.6%となっている。大方が「十分に配慮すべき」と考えており、性別、年代別で考え方に大きな差はみられない。

平成20年度からの経年変化をみると「十分に配慮すべき」がややポイントを落としているものの、大きな変化はみられない。

Ⅲ 自由意見

Ⅲ 自由意見

【女性が安心して働くことができる環境整備を望む】

- 女性は子どもができると今までのキャリアを捨て、パートや軽作業で働くことを余儀なくされることが多い。それは「働く＝自分を表現する場」ではなく「働く＝お金」でしかなくなってしまうことがあり、雇用する側が求めるスキルと働く側が求める“時間や責任の制限”のバランスが取れないのではないかと思う。スキルを生かし“時間や責任の制限”もクリアできるような自宅勤務（在宅ワーク）の拡大と、それに対しての企業の支援が必要ではないかと思う。男性の“育児・介護休暇”は復帰後のキャリアアップに大きく左右されるため取りにくい現状は政府も理解していると思うが、根本的に男性が育児・介護を行うのではなく、育児・介護を支援してくれる施設の充実と何らかの金銭的援助が申請できる仕組みを作ったほうが社会は活気づくのではないかと思う。働き盛りの男性が会社を何ヶ月も休むことの大変さを（雇う側の体性も含めて）もっと理解するべきである。介護や育児で男性が疲れ果てていては充実した人生が送れないと思う。（もちろん男性も女性も関係なく）
(女性 40代)
- 女性が安心して社会生活（仕事）ができるような環境を整備してほしい。複数子ども（二人以上の子ども）を持つ親に対する経済的援助を充実させてほしい。
(男性 50代)
- 子育て、家事を女性とともに分業したいと思っている男性は確実に増えていると感じるが、仕事の内容が複雑化、夜遅くまでの業務体制等、男性の仕事内容が長時間すぎるため結局子育て家事が手伝えない現状です。ゆとりのある仕事時間、会社内託児所、元気な高齢者の活用など、社会全体のバランスで考えたほうが良いと思う。
(女性 50代)
- 社会の不景気で男性の収入だけでは核家族のために一人の収入だけでは足りず、女性も働きに行かざるを得ない状況が多く見られます。子育てをじっくりやりたくてもできず、忙しく、心の病や体調を崩す女性も多く（ストレスでの不妊など…）、女性が女性らしく輝いていられる社会になればと思います。私もできれば子育てやパートタイムにして子供のことや家のことなど見つめて行きたいところですが、忙しく、自分が働いているせいで保育園や児童クラブに行かせていることが辛く思うときもあります。しかし男性は仕事だけ、もしくは少しのお手伝いだけで問題ないと思っているところは、当たり前にある社会の姿で、そういったことは先進国にしては遅れていると思います。
(女性 30代)
- 外国のように女性が子どもを産み育てつつ仕事もできるような社会にならないと日本もいけないと思う。
(女性 40代)
- 男でも女でも性別により向き不向きが決められず、特に最近は今まで男性のみの職場にも女性の姿が見られるようになり、とてもうれしく思います。ただそこにどうしてもからんでしまうのは、生む性としての女性です。そして、この問題については生む方の女性のみならず生まれてきた子ども達への配慮が必要です。預かるほうがどんなに頑張っても、母親の代わりはできないからです。父親、母親、子ども達、共に豊かな人生が送れるよう総合的な見方が必要だと思います。ただ、今の国会のように男性議員ばかりでそのあたりのことを具体的にわかってくれるのでしょうか。
(女性 50代)
- 子どもを安心して預けられる仕組みが重要だと思う。保育園（子どもを夜まで預けられる）等の数が増えれば女性が活躍できる場面が増えると思う。
(男性 50代)
- 今後結婚等をするときに仕事などどうしたらよいか考えつかない。
(男性 20代)

Ⅲ 自由意見

- 職場の同じグループ内に私より明らかに能力のない年上男性がいます。上司との面接中に「本当は重要な仕事をあなたに任せてリーダーになってほしいのだが、〇〇は男だから。」と上司にきっぱり言われて返す言葉がありませんでした。現在の職場で偉くなりたいとは思いますが、なんだかやる気をなくしてしまいました。(女性 30 代)
- 産休を取った女の人の、後が悲しい。全体的に女の人の立場が弱い気がします。たぶん給料面からも違うし、子どもの病院で休まなくてはならないが、男の給料少ないし、仕事も楽しくやっていて、子どもの病院で休んで、テンションダウンの会社が悪いのか、中小企業はギリギリですが、それが現状です。ために県の産休時の人の数と、中小の数を比べたりしたら分かると思います。中小は産休を取りたいです、っていう一言がかなり重たいです。(男性 30 代)
- 今後の高齢化社会に備えるためにも女性の働きやすい環境づくりは必要なことだと思います。(男性 40 代)
- 育児に関して言えば、社会（会社、保育園など）は女性中心で男性の育児のハードルが高いと思います。会社でも育児に対して理解が低く、保育園のイベントや子どもの病気で早退などするとサボっていると思われる。保育園でもお母さんはどうしたのか聞かれます。自分の子どもが育児をする頃にはもっと楽しい育児ができるように市の方々ががんばってください。(男性 30 代)
- 産後、女性がスムーズに社会復帰できる職場環境やシステム作りを推し進めてほしい。(女性 20 代)
- 会社に託児所などがなく、車の免許も持っていないので、子どもを産もうにも産める環境ではありません。なのにまだ会社の風潮は「女は子どもを産むべきだ」やら「産休は短く、早く会社に仕事復帰すべき」やら、矛盾しています。先日も部長に「産休はないし、育休なんてもってのほかだ」と言われ、ますます子供を産もうにも産めず、ストレスが溜まります。静岡にある会社は託児所を作ることを義務にでもしない限り、男女共同参画社会なんてまず実現できないと思います。ちなみに私の親は転勤族なので、「子を産むから実家に帰る」なんて選択肢はありません。静岡で暮らして7年経ちますが、全く進歩が見られません。いいかげんに、改善してほしいです。(女性 30 代)
- 共働きをしないと今の社会では生活が苦しいのではないのでしょうか。保育所などもっと作ってくだされば良いかと思います。(男性 70 代以上)
- 男女平等と言えば聞こえは良いが、実際社員の少ない会社にいるとどうしても残業は避けることが出来ない。家事や育児が定時に退社する理由にはならないという暗黙の了解があると思う。大きな会社に下請けの小さな会社の営業（女性）が行くと、強いことが言えず無理に仕事（納期、コスト）を引き受けることになったり、本人も精神的ストレスが半端でなくつらいと思うがずっと我慢をしている。他の営業（男性）ならそんな仕事、絶対に断る！なめられているんだよと言っている。男女平等でなく、女性なのだから…と周囲も配慮してほしい。(女性 30 代)
- 女性が働くには、もっと保育園をたくさん増やすこと。小学校が終わった後、5:30 頃まで子どもを安心して預けられるところをもっともっと増やさないと子どもを産み育てる人がいなくなってしまう。(女性 70 代以上)
- 子どもが少なくなったせいか、学校や地域の行事、活動が密になった。それなのに夫婦共に仕事で協力できない、または共働きなのに母親だけ無理してでも協力するなど多くなった。父親の協力も5、6年前に比べ増えているが仕事を理由にする人も増えている。また、1ヶ月に自分の理由で休める日が月に2日しかないという母親もいて、社会の中でも融通が利かない。すでにこんな状態なのに、「男女共同参画」の実現はできるのでしょうか？(女性 40 代)

- 女性特有の問題があることは理解しながら、普段の仕事を回すことには職場としては問題ないものの、成果主義の評価指標、スキームがそれに追いついておらず、どうしても女性が不利となっていることを、評価する側からすると感じています。評価の中に女性だからという加点等をする、男性側からの強い不信感を生むなど難しい問題となっています。
(男性 40 代)
- 女性が出産して、いざ仕事復帰となっても、保育園に入れなかったり、遠い保育園に回されたりして、結局心身の負担が増え、働ける環境ではなくなってしまうことがあります。男女が平等に働ける社会の仕組みが必要かと思います。
(男性 30 代)
- 少子高齢化が進み、「女性は子どもをたくさん産んで…」 「一人六人は産んで…」 という話をたくさん聞きますが、どれだけ仕事と育児の両立を望んでも、実際は保育園の問題や育休・時短制度などで難しいと思う。私を始めとして周囲の人を見ても完全に両立する人、している人はごくわずかです。自分もそういう立場（子ども 2 人産んで現在主婦。以前は正社員も、両立難しく今後はパート）になり、正社員で働き続けることの難しさを感じています。正直言って女性は働きづらいです。早く何とかしてほしいと思います。
(女性 20 代)
- 男性の育児休暇制度を利用しやすい環境を市が企業に対し積極的に促していくことが必要。
(女性 20 代)
- 私の職場では男性社員の立場がとても強い。男性上司におばさん扱いを受け、体調悪く休むと更年期だと言われ、男女共同参画とは程遠い。若いお父さんお母さんは育児、家庭の仕事、分け合っていてやられていると思う。年代によるのか、私達の時代とは変わってきているのだと、今は女性も仕事して給料（収入）があります。別に結婚しなくても一人でという女性が増えている。
(女性 60 代)
- 子どもを産んで仕事を続ける場合、今の社会では母親の負担が大きくなります。PTA の役員も、保育園の送り迎えも、ほとんどが母親です。会社の制度が整って、育休や休暇が取りやすくなっても、母親の育児、家事、仕事に対する負担は減っていないように感じます。逆に「母が休暇するから父は仕事に注力できる」のように思われているようにも感じます。子どもが増えないのも女性が結婚したくない理由もわかるような気がします。家事、育児は女性だけが担うものではありません。男性や社会全体の意識を変えないと男女平等というのは難しいものだなと感じています。
(女性 40 代)
- まずは職場の中で子育て中（障害、ボーダーラインの子ども達）の理解が必要。介護についての理解。休暇の取りやすい雰囲気作りが必要。特に男性が取りやすいよう。
(女性 60 代)
- 出産後、本当は 3 才くらいまでは子どもと一緒にいたいと考えている人が多いのに、3 年後に社会復帰するのが難しかったり、働く時間の自由が利かないために産休で短い期間しか休めないまま社会復帰する人が多い。復帰後も、夫婦共働きなのに家事は女性の仕事では、あまりに負担が多すぎる。社会復帰の場をもっと作ってほしい。例えば子どもが小さいうちは午前中だけ働ける場をもっと増やしてほしい。家事を夫婦で分担できるよう、男性の育児休暇をもっと普及するようにしてほしい。
(女性 30 代)
- 出産、育児に関するサポート（産休、育休）が進みつつありますが、初婚年齢が上がり、雇用の場でも女性が男性と同様に長時間労働、あるいは長時間職場に拘束されるようになったため、妊娠までこぎつけるのが難しくなったのではないかと思います。希望者には職種の選択を柔軟にできる等の配慮があれば…と思います。一時的に一般職に戻るとか、夜間のシフトを外してもらおうとか、妊娠のための休職とか…。
(女性 40 代)

- 仕事もしています。母子家庭です。子育てや家事はもちろん仕事も責任を持ってやっていきたいと思えます。責任を果たすには子どもの体調不良時等にも安心して仕事にいける、もしくは快く仕事を休み子育てに専念できる社会（職場）の理解が必要です。母を代わってもらうことはできません。特に具合の悪い時に母親と一緒にいられない、看病できないことは辛いです。男女共同参画には母として働く者への理解が必要です。どうしても代われない仕事は責任を持ってやります。ですが、子どもの体調の悪い（急性期）には子どもの側にいられるよう、そのことで批判されないような社会になるとありがたいです。
(女性 30 代)
- 女性がもっと働きやすい社会に、男性も育児や家事に参加するよう意識を変え、社会もそれを応援してほしい。
(女性 70 代以上)
- 男女雇用機会均等法が施行され、男女共同参画推進条例が新しく施行されるとのことですが、法律ができてその運用がしっかりできなければ男女間の格差は是正できない。少子高齢化社会の中で、女性の子育てと就労を含めた社会進出は、日本の人口減少の中で、政治が解決しなければならない喫緊の課題であり、女性が働きやすい環境づくりを早急にしてもらいたい。女性の能力活用は日本の浮沈がかかっていると言っても過言ではないのでは？
(男性 50 代)
- 女性も子どもを産んで働けるような社会にしてほしい。それを望んでいない人もいるが、働かなくては生活できない家庭もある。産休、育休の取りやすい職場の環境、その後の短時間労働や子どもの体調不良時などの休暇の申請など、まだ偏見があるように思う。保育園や児童保育施設の充実を図ってほしい。女性の行き方もいろいろ選択肢が増えるといいなと思います。男性の育休も当たり前になったらいいなと思います。
(女性 40 代)
- 女性の医師が出産後、すぐに職場に復帰することがよくあるという。その子ども達が成長し、引きこもり登校拒否になったりすることもあるという。共働きの家庭、父子・母子家庭等の子ども達が非行に走ったり、いじめをしたりすることもある。親子で触れ合える時間を増やせるよう、会社等改善していただきたい。テレビ業界等では、セクハラ、パワハラ等が珍しくないという。仕事で無理をして流産したり、仕事の都合で中絶したりする女性もいるようだ。休暇を取っても上司等を訴えてもクビ等にならない職場を作っていただきたい。DV・セクハラ等に悩まされている女性は多いという。相談機関を知らしめていただきたい。
(女性 30 代)
- 不妊、不育の治療に通っている人に対し、理解してほしい。少子化を進めていかないためにも男女平等といえど、上記のように妊娠・出産のための特有の体のづくりが女性にはあり、出産しても生活していける保障がないと出産をあきらめてしまう人もいると思う。また男性側も子育て中だから早く帰ってしまうなどの見方をやめ、就業時間しっかり仕事したならば残業できなくても理解してほしい。それができない会社が多い。それならば働き続けられる環境（保育所）を充実してほしい。一般論ですが…。
(女性 40 代)
- 他県に住んでいたこともあり、静岡は女性が働くことに抵抗はないと思う。女性は子育て出産など親が近くに住んでいないと困難になる。静岡にはインフルエンザなど病気の子どもの預かる病院（有料、かかりつけ医でなおかつ預かってくれる施設）が少ないと思う。女性が社会で活躍するには、それなりの補助と会社の理解が必要。
(女性 40 代)
- 女性が仕事を続けるための整備（子どもの預け場所）が必要。
(女性 30 代)

- 女性も共に参画という言葉はとてもキレイに聞こえますが、実際のところは家庭では女性中心となっている現状があります。共にというのは非常に難しいと思います（子どもができると特に）。「参画するだけ」なら浸透しますが、まず女性が多い職場もあり、実際は女性対女性の問題が職場復帰を妨げてしまう勤務状況もあります。私の仕事である看護師は、働くと休みが取りづらく、家庭・職場ともに影響が出ます。急な子どもの病気も休みづらく、皆がギリギリの状態です。休むと悪口を言われ、仕事も行きづらくなります。医療現場は普通の職場とはまた事情が違います。市の施策、国も県も色々考えていると思いますが、医療現場ではこのような施策は現状まず無理です。男女平等に対しては、まだ男の人が優遇されているのが現状ではないでしょうか。（女性 30 代）
- 私は不妊治療によって子どもを授かりました。職場における不妊治療への理解はとても低いと感じました。特に上司（男性）は理解がないと思いました。ちなみに私は仕事を辞めて治療をしました。自分が女性なので、“女性だから”と権利を主張するだけではもちろんいけないと思います。まわりに感謝して、お互い思いやりをもって仕事するべきだと思います。（女性 30 代）
- 妊娠や出産、介護、育児等、制度を利用することは良いことと思いますが、休んだ間の代替りの職員の補充が十分にされていればOKだと思います。お互いに気兼ねなく使える制度になれば良いです。（女性 50 代）

【男性の権利（育児休暇など）も守ってほしい】

- 法律により逆に女性が優遇される場面が散見される。例えば、職場の役職に「女性を就けなければ」と安易な理由から配置されることは少なくない。また、セクハラを理由に男性上司が女性部下に指導するのが難しいことも考えられる。また子育ては女性がするものだという考えは根強く、男性が育児休暇を取ることは極めて少ない。ここに平等はないのかと不思議に感じる。近年男性も子育てに参加する機会が多いので希望があれば休暇が取得できるような、制度はもちろん環境や雰囲気、空気といったものを作り出していく努力をすべきであると感じた。（男性 20 代）
- 男女と言うからには男も守ってほしい。クリエイティブな職ではセクハラが起きがち。アメリカでもセクハラはよくある（沖縄の米兵はしょっちゅう起こしている）。ヨーロッパのように衰退した社会では男女平等が進みやすい。その国がどうなりたいかで意見が変わる。（男性 30 代）
- 男性に関してはまだまだ育休等の認識・理解・取得が低いと思います。これからすすんでいけばいいなと思います（静岡だけでなく全国的にも）。以前情報番組で男性の育休が進んでいる自治体を目にしましたが、静岡もそうなることを願っています。女性に関しては、育児が一段落したので社会復帰を！と思っても、なかなか働き先がないということをよく耳にします。社会的にそのような機会を用意する必要があると思います。（女性 20 代）
- 男性の育児の為の時間を会社や社会でもう少し配慮してほしい。私の主人は十分に協力的であるが、保育園の通園、子の急病の呼び出し先は全て母親の私が負担している。病時保育も定員 3、4 名でとても使えた代物ではないし、私の会社としても負担をかけてしまうので仕事を続けるのが難しい。（女性 30 代）

- 今まで男の仕事だった分野（バスの運転士、気象予報士、土木関係、交通整理等）女性の進出が目立っています。男の人の仕事がなくなり結婚もできなくなり、少子化の原因にもつながるような気がします。ホームレスのほとんどが男性です。さんざん働いてホームレスになっていく人は気の毒だと思います。
- 男性の育児休暇やワーク・ライフ・バランスなどは一般社会で通用するとは思えませんが、できるようになると良いと思います。（女性 50 代）
- 国が女性の社会進出を推進しているように感じる。公務員は女性の管理職が増えているが、民間企業ではまだ進んでいないのではないかと。男性の育児休暇をもっと推進してほしいと思う。（男性 30 代）
- 幸せの感じ方はひとり一人違うと思うので、女性のことだけを考えずに、男性のことも考えてほしい。もっともっと育児に参加しやすい環境を整えてほしい。（男性 30 代）

【性の特性に配慮した男女平等を望む】

- 能力は対等に性差は認め合うべきと思う。（男性 20 代）
- 男女それぞれが尊重しあって、若い人にどんどん積極的に進出してもらいたいと思います。（女性 60 代）
- 子どもを産むのは女性にしかできないこと。何でも平等と考えるのは難しいのでは？それでも生活しやすい社会になってほしい。（女性 20 代）
- 男女が全てにおいて平等というのは生物学的構造からみても難しいと思うが、性の特性に配慮しながら進められればと思う。（女性 40 代）
- 知的な部分では男女は平等だと思います。体力的には女性はそれほど強くはないと思います。共同参画と言っても個別に考える必要があると思います。（女性 70 代以上）
- 男女は身体的に差異があるのだから、何から何まで男女平等というのはおかしいと思う。男には男に適した役割、女には女に適した役割があり、それぞれが大事だし、独立しているべきだと思う。（女性 60 代）
- 男女平等は何をもって平等かを把握することは非常に困難なことだと思います。一概に決め付けることが出来ない。このすべてが平等じゃなく、この部分は男性、この部分は女性が有利というような事柄だと思います。平均して平等が良いのでは？（男性 60 代）
- 男女ともに対等な立場で社会参加するためにはそれぞれの性差に応じた法整備が必要であると思う。その上で男性は男性、女性は女性の中でまず対策を考えるべきではないか。男女同一の場で意見交換しても互いに非難の言葉が出やすいが、同性同士であれば、同性の中においても異論があることに気づきやすい。その上で男女合同の方策を立てるような道筋が必要だと思う。また女性の立場を向上させるような法律は、一方で法制度上の不平等になる可能性もあると思う。（男性 50 代）
- 男の体と女の体とは違うように、男性ができる職業、女性にしかできない職業があってもいいと思うのですが…。女性の方が強くなると男性はとてもしんどいと思います。高校生を見ていると、女の子は男の子を呼び捨てにしていて、私達の頃には考えられないこと！男の子にもっと強くなってほしいです。女の子を引っ張って行ってほしいなーと思います…。世の中逆転すると、うまくいかなくなるのでは。男らしい、女らしいでいいのでは。（女性 60 代）

Ⅲ 自由意見

- 男女平等という言葉だけが全面に出ていて本質的に何を以て平等なのかがよく分かりません。男には男にしかできないこともあるし、女も同様であるので、何が何でも肩を並べる必要はないと思うのですが…。古い考え方もかもしれませんが、それぞれができる事をしてこそバランスが取れた社会になると思います。(女性 50代)
- 差別ではない区別は意識しなければならない。(男性 60代)
- 差別があってはいけないと思う。本人の能力が認められるべき。女性（または男性）本来の配慮すべき部分はちゃんと配慮されるべき。(女性 50代)
- 正直妊娠や出産に関わるような女性特有の問題もあることから、全ての事案において平等ありきの議論はどうかと思います。男性、女性それぞれでなければ成立しにくい職業もありますし、男性だけのサービスに対して対しては世間は差別と言うが、女性だけのサービスには当たり前前の風潮も気になります。全てが平等になれば全ての問題が解決するとも思えません。(男性 30代)
- もともと男女ともに体の性能が違うので、男女平等とは何かと思います。(女性 30代)
- 平等の上で男が得意なこと、女が得意なことと、住み分けが必要だと思う。(男性 40代)
- 男女平等ということではなく、人間皆平等でなければなりません、男性には男性の役割があり、女性には女性の役割があると思います。その役割を援護するものであってほしいと思います。(女性 60代)
- 男女平等と言いつつもまだまだ男しかできないこと女しかできないこともあると思うので、それを互いに理解しつつ協力できたら良いと思う。(男性 50代)
- すべてが男女割る2ではない。お互いを支えあっていることが大事。家事をしないといって平等でないとは言えない（主に妻の意見）。(男性 60代)
- 更年期～老年期に向けての女性の特性、男性の特性をお互いに理解し、社会の人々も理解できるような機会があるといいと思います。女性の就労が求められ、高齢になるまで健康でいられるための理解を深め、対応できるシステム作りがあるといいですね。(女性 50代)
- 男女は権利は平等だが、生物学的には平等ではない。個々の特性を生かし、権利を守られての平等を、周知した上での共同参画を、国（地域）全体で取り組んでいただきたい。また、労働主婦（子持ち）については（特に正社員）、子育て時期の働き方にもっとフレキシブルに対応（時間短縮＝多少の賃金の減少＝他の社員の負担の軽減）等できるよう企業努力もまだまだ必要！(女性 50代)
- 男女平等とは、男と女の役割が違うこともあり、難しいと思います。どちらもお互いに思いやりを持って生活できればいいと思います。(女性 40代)
- 男性も女性もそれぞれ優遇される部分があって良いと思う。そもそも性別が違うということは役割が違う風に生まれてきたように思うため、“全てが平等で同じように”は無理がある。ただ、男性が主夫になったり、女性が稼ぎ頭になったりという逆転は、これから当たり前のようになれば、それこそ男女共同参画の名にふさわしい世の中である気がする。(女性 30代)
- 私が勤めている会社でもダイバーシティ活動の委員会があり、男女の不平等をなくすための議論が行われています。活動の内容やそこで生まれた考え方が全体に広がり性別による不平等がなくなれば良いと思います。ただ、どうしても身体的な差はあるため、全てを平等に扱うことは現実的に難しいと思います。そのあたりのバランスを考慮しながら活動を進めていけたら良いと思います。(男性 30代)

- 生まれながらにして性差があるのだから当然区別はあって良いと思う。ですが、それが差別になってしまうところに大きな問題がある。男女共同参画社会にむけて活動が進んでいること自体が本当は差別が根底に流れている気がしてならない。
(女性 50 代)
- 男女共同参画についてはなんとなくのイメージは持っていますが、具体的なコンセプトについてはよくわかりません。しかしながら、個人的意見ではありますが、性別にこだわりなく平等ではなく、性別という個性に合致した配慮が必要と考えます。
(男性 30 代)
- 性差というか質が違う生物なので、向き不向きあると思います。そもそも男女どちらかで見ることには違和感です。男女と質が違うもので平等を求めるとおかしくなる気がします。そこは障害者、健常者で変な差をつけるのと似てる気がします。もう少し男性の育休、男性の子育てについて理解が広まってほしいです。文章よりはマンガの方が分かりやすいです。
(女性 20 代)
- 生物学的な機能の違いを考慮すれば、子育ては女性が効果的だけれど単純な育成ならば男女の差はなく、適所適材であるべき。どのような生活様式になるか選ぶのは本人であって、どのような選択もできるような仕組みを社会的に用意すれば良いのではないかと希望している。男女の役割もそれぞれ、生きるのに楽なほうへ流れてしまう意識を改革するのも大事だと思っている。
(女性 40 代)

【権利の主張だけでなく、義務も考えるべき】

- 男女共同参画とはいうものの、男にできて女にできない（難しい）類の仕事や、その反対に女にできて男にできない仕事もある。例えば土方や鳶は体力や筋力が劣る女にとっては「絶対にこの仕事に就きたい！」と思ったところで、事業者側にしてみれば「使えない、男の方ができる」と考えるのが当然で、採用率が低くても仕方ないと思う。最近「女性の権利が～」とか、「女性蔑視だ」とか声高に言うが、そのせいで男の権利が制限され男性蔑視とも思えてくる。女の社会進出とかほざくなら、家庭という最小の社会単位を女の手できちんと守ってからにしてほしい。義務を果たしてから権利を求めるべきだ。
(女性 20 代)
- 男女共同参画の意義、意味を履き違えている女性が多いと感じる。権利の主張だけでなく、参画することで生じる義務についても女性自身をもっと理解する必要があると思う。
(男性 30 代)
- 男性も女性も権利主張をするだけでなく、思いやりとか配慮のできる人間として育てる教育をしてほしい。
(女性 60 代)
- 配慮と甘やかしは違う。過度な調整によって法や論の影に隠れて邪道を行うものがあることを忘れてはいけない。
(男性 10 代)
- 体の仕組みが違うように男女でできることは違う。そんなことを法律やそれ用の役所、部署を作ってもまで対応するのはムダ。生きていくために、体調や自分の心に添わないことをするのは当然で、配慮する必要はあるが、それを権利として法律を作ってもまで対応するのはわからない。実力のある人間なら男女問わず社会で活躍できると思う。また、本来社会通念上当然の権利をわざわざ法律として保証するなら、同時に義務も法律内に記載するべき。
(男性 30 代)

【男女平等は進んでいると思う】

- 自分達の若いときより男女平等になりつつある。 (女性 60代)
- 最近は大いぶ男性が家事・育児をしている姿を見かけるので、とても良い環境が整ってきているように思う。 (女性 30代)
- 共働きでないと暮らせない時代になりつつある。家庭・職場とも、男女による差別はなくなりつつある。 (男性 60代)
- 男性（自分の身の回りの）は女性に対して配慮している。女性は力は男性に比べて弱いので、力仕事は率先して行い、就業時間も少なくして当然と考えている。男性は女性に対して十分な配慮をしているつもりである。だから職場はうまくいっているのである。しかし、男女共同参画など声高に言うために、いかにも女性を冷遇しているように受け取るような響きがあることに納得がいかない。男女平等とか男女共同参画など言わなくても、今は十分にそれは達成されているのではないか。男性で女性を低く見るような人間のせいで、男性が女性全体に対し偏見をもっているように思われるのは心外である。（と思うのですが…やや愚痴ってしまったかな？） (男性 50代)

【その他】

- DV やセクハラ相談をしても警察では十分な対応なく、被害届の提出をする、しないだけでサポートは少ない。女性センターで相談しても結局被害者は泣き寝入りで加害者は平然と暮らし、何も変わりませんでした。このようなアンケートを取って何か変わるのでしょうか？不愉快です。 (女性 30代)
- 格差のない住みやすい（生活）社会になればいいと思います。 (男性 70代以上)
- 子どもを持つと、特に女性への負担が大きくなる。女性、子育て中ということで仕事の幅が狭くなる。収入面でも男性に劣ることなど、まだまだ不利があると思う。 (女性 30代)
- 地域性もあると思いますが、男社会の良し悪しは個人の考えによって大きな差はあると思います。また、家庭においても同じです。お互いが思いやりをもてれば形（関係性）はどのように変化しても良いと思います。 (女性 50代)
- 私は基本的には男性も女性も平等に扱われるのが普通だと思います。しかし、責任という言葉に対し、社会一般的には男性の方が社会的な責任は重いと思います。年金制度等、男性は外で働くのが常という前提で法律が構築されています。身体的な仕組みはどうしようもないですが、責任を取れる能力を備えている大人であれば男女の区別をする必要はないと思います。要は個人の能力に起因する部分が非常に大きいと考えます。 (男性 40代)
- もっと広報してほしい。 (女性 50代)
- 妊娠、出産、育児、仕事、家事は、負担が偏るとさまざまな問題が生じます。周囲にいる経験者や相談しやすいサポートセンターを利用しやすくすることや、また相談内容の分析をし、援助の希望に応えられるよう柔軟に対応する。 (女性 60代)
- 仕事した時は男女平等と女は言い、だったら重い荷物も女が自分で持てばいい。女はずるい。妊娠出産育児の大事な時に男は関心が少ないことが不平等。何もかもがダメ。しかし、良くはならない。あきらめよう！ (女性 40代)

Ⅲ 自由意見

- 男女ともに思いやりをもっていれば難しいことを考えなくても良いのになあとと思います。でも現実社会の中では色々な問題があるので、とても悲しいことです。男でも女でも、弱者に味方して守ってくれる行政があればいいなと思います（もっと世間に公表する）。（女性 30 代）
- 少子化と女性の職場進出および成人男性の正規雇用減少はすべて密接に絡んでおり、どれを優先するかにより対応内容は大幅に変わってしまうと考えています。個人的には、国として、地方自治体として少子化対策に最も真剣に取り組んでほしいと考えています。（男性 30 代）
- 国民の血税は大切に使いましょう。（男性 60 代）
- 理想と現実の差はまだ大きい。（男性 70 代以上）
- 男性優遇の日本は根本からその体制を変えなくては決して平等にはならない。女性の家事も労働という考えを持ってほしい。「誰が食わしてやっているんだ」と言われる。「誰が生活維持しているの？子どもの世話をしているの？」と言いたい。どちらも大切。（女性 40 代）
- ここでの意見かどうか分かりませんが、自分は妻を亡くしてから子ども達と 3 人で生活していますが、男はフルタイムで仕事をしてそれから家事などをしなくてはなりません。自分には親も兄弟もいません。こういう家族（父子家庭）への何かの手当てがあればと思います。お金ではないのです。自分でも何か分かりませんが、とにかく人手がほしいです。（男性 40 代）
- 男女平等は現実には難しく、それなりの参画が望ましいと思う。（男性 50 代）
- 性別に関係なくその人個人の特性があるので、それを生かした参画をすれば良いと考える。ただし、経験の差があるので経験年数の長い方の意見を尊重することは、いつの時代にも必要だと思います。お互いを尊重し、力を合わせる事が前提の男女共同参画ならぜひ推進して行ってほしい。性別に関わらずセクハラ、パワハラは、相手を尊重する姿勢があればなくなっていくと思う。しかし、そういう場を見かけたら、情報を共有すべきではないか。人が安心して生活していく基盤となるものは、国としても地域としても真剣に考え、実践していくことが必要だと思います。（女性 60 代）
- どんな形であれ、社会に貢献できる人間であることが自分にも生きている証になると思う。生きがいになる。男女、健常者、障害者は関係なくて、その方にできる貢献のあり方、能力を引き出せることができれば幸せである。（女性 70 代以上）
- 男女共同参画は当然のことである。より一層社会で活躍できる場を提供すべきと考えます。（男性 40 代）
- 今は男女とも仕事を持ち、家庭でも男女協力してくる姿をよく見ます。賛成です。（女性 60 代）
- 女は子どもを産むもの！男女が職場や教育で平等であるほうがおかしい！よけいに子どもを産む女性が減ってしまう。女性にも働けというなら子どもを作るなど言っているのと同じ。あと、男女を平等にするなら結婚したがる女、子どもを産まない女（産めないは別！結婚もしているのに産まないで生活してる人達）の税金を上げてほしい。私は子どもを 3 人産んで国のために協力していると思います。でも高い食費がかかるし、税金もかかるし大変です。将来の為子どもを増やす方法をもう少しちゃんと考えてほしいです。（女性 30 代）
- 高齢者になりましたので男女共同参画についてはもう意見はありません。夫婦で穏やかに過ごすのみです。夫婦だけでするので 2 人で助け合って生活している今が幸福です。（女性 60 代）
- もっと女性にも健康診断を受ける機会をつくってほしい。子どもを産むため仕事を辞めてから、なかなか健康診断を受けられない。（女性 20 代）

Ⅲ 自由意見

- 家庭状況、職場の状況などにより、男性の役割、女性の役割がありつつも、上手い具合に社会が回っていけば幸いなのですが、個々に満足が得られる状況は難しいのではないのでしょうか。シングルマザーなどであれば頼り場所がない場合は社会で埋めてくれる場所、父子家庭においてもその必要性はあると思います。お金のあるお家であればそこまで女性が働かず子育てに励んでも良いような気がしますし、臨機応変に幅の広い世の中になっていけると良いのですが…。 (女性 30代)
- 女性が会社とか頑張りすぎると男性が働かなくなってしまう、困るんですよね！ (女性 40代)
- 男性が、女性とともに協力しあう社会になっていることを大いに認識する気持ちが大切だと思います。 (男性 70代以上)
- 環境・条件の整備をさらに進めるべきである。現在、象徴として一部の方が色々な分野で登用されているが、成功、失敗の判断ではなくどんどん積極的に進行させるべき。進行すれば当たり前となり、普通になると考えられる。本当に能力のある方が登用されるようになるために、大いなる前進が必要と考えます。 (男性 60代)
- 少しは進んでいるのでしょうか？と思えるほどです。きっと進んでいないのでは！ (女性 50代)
- 女性の体は妊娠できる体なので、一生子どもを作らないと書いていてもできてしまう場合もあり、産むとなれば何ヶ月間は休まないとならないので、男女平等に近づくことはできても、完全な平等にはならないと思う。 (男性 40代)
- 子育てがしやすい市になってほしいです。 (女性 30代)
- 何をどうしたいのかよく分かりません。市は現状をどう捉えていますか？どういう風にしたいいですか？ (男性 30代)
- あまり分からないけれど人それぞれだと思います。 (女性 70代以上)
- 理解は必要だが配慮は不要である。 (男性 40代)
- 男女平等について男性が優位といわれることが多いですが、大きな企業になるほど、女性という立場を最大限利用しております。これ以上の配慮は必要ないと感じる。 (男性 30代)
- 男性の賃金をもっと上げて、女性は子育てに専念できるような仕組みになってほしい。そのために公立の幼稚園をもっと増やすべきだと思う。学校や職場でのスカート禁止にしてほしい。 (男性 30代)
- 女性であることで配慮しすぎるのは差別であると思う。 (女性 60代)
- 世代にもよりますが、年が上にいくにつれ男尊女卑の考えが残っている気がする (男も女も)。女性が出産、育児のため仕事をやめた後、戻りやすい制度や、スキルアップ支援があると良い。女性だけのグループホームのような、低収入でも入れる施設があれば、貧困で悩む人にも利用しやすいのでは。男性から一方的な扱いを受け、緊急時にはとにかく逃げ込める集会所のような場所があると良いと思う。主婦 (特に子持ち) には情報がなかなか届かない。少しでも多く発信してください。 (女性 30代)
- 男女共同参画という言葉は知っているが、何をしようとしているのか、したいのかを知らない。知りたいと思うが、関心を持たせる働きかけをしていただければうれしいです。 (男性 50代)

Ⅲ 自由意見

- 経済的に自立できない不安が大きかったため、“無理なく生活できる収入を得られる仕事を”と思いき生活してきたら、出産できる年齢は過ぎてしまいました。労働力が足りなくなり、女性の活躍が期待されているようですが、健康を害し、生み育てることが一層難しくならないことを祈ります。
(女性 40 代)
- 何はともあれ夫婦が毎日楽しく、愛情が一番だと思います。
(女性 70 代以上)
- もっと啓蒙活動すべきだと思います。
(男性 70 代以上)
- 一般的に女性が強くなり、どちらかというとなん事も女性が優遇になったと思います。そのことにより女性は女性でしかできないことも男性にやらせたりするようになったような気がします。今の若い人（若い夫婦）たち。
(女性 60 代)
- 昭和の時代は、女は発言するものではないような、昔からのしきたりみないなものがありました。女は酒も飲むのもではないという育ちで、父は私が子どもの頃、母にすごいいいじめをしたが母は抵抗せず泣くばかりでしたので私はお酒は大嫌いです。現在の女性は当たり前にお酒を飲み、飲まなければ損のような変な時代です。あまり女性に甘くすると人によっては考えられないような態度・言葉をいう人がいます。そのような人が大勢集まったらどうなるでしょう。またそういう人々が集まりやすいのです。意見を出しても言っても良いのですが、少し誠実にまた女らしく発言したらと思います。男と女は性格上違うのは当たり前ですのでもう少し生活においても女らしくしたいものですね。
(女性 70 代以上)
- 男社会の時代とは、これからは思わない。どんな仕事に対しても女性が出てくるべき。
(男性 20 代)
- 生涯学習センター等での企画をたびたび見ているが、その成果はどうなっているのか知りたいと思う。
(女性 60 代)
- 昭和 2 年生まれの私としては、男優先社会で生活してきましたが、今日つくづく男女共同、平等を感じますが、最初から戦後生まれの人が男女平等の教育の下に育った今日、男女共同参画を真にどう思っているか。出発点と同じ男女平等感が果たして本当の姿か？十分考慮する必要がある。特に高齢化した男女を含めて。
(男性 70 代以上)
- まだまだ女性に力があるのに男性が優遇されています。残念です。
(女性 70 代以上)
- 男女共同参画といっても女性が子どもを産める期間は短いので、その配慮がないと子どもが段々少なくなっていくと思います。
(女性 70 代以上)
- 退職間近のものですが、今の女性は育休等優遇されています。昇進も平等ですのでがんばってほしい。男の職場に女性が入り弱体化にならないよう個々の考え方も替えないと前には進まないと思います。
(女性 50 代)
- 土壌作り、環境づくり、社会が受け入れる環境づくり、世界的視野で認識するよう外国の事例を紹介する…が大事。自治体、企業など、それぞれ目標を決め、その進捗状況などを発表、新聞広報などで知らせる活動をしていく。夫の長時間労働と時間外労働の削減。静岡ガス、静岡銀行、静岡鉄道の 3 社共同保育施設（事業所内保育施設「森のほいくえん」）の状況の紹介（3 年経過している）。ノルウェーを参考にしてみる。2008 年から大手民間企業の取締役会に女性 40%以上確保が法律で義務付け実施している。EU もこれに倣っている。欧米諸国では 10~20%台のことが多いのですが、日本は 1%ほどです。上から変えていく必要があります。
(男性 60 代)

Ⅲ 自由意見

- 政治の場では“女は黙っておれ”の空気はまだまだ強くあると感じています。世界を見てどうですか？戦いや争いの中で真っ先に痛めつけられているのは女性と子どもです。日本の将来はどのようなのですか？力でねじふせているのは男性ではありませんか？人類存続の為にはもっと女性を大切にしなければいけません。共に「有難い」と言い合える豊かな存在価値であることを、生命の大切さを、誰も傷つけず傷つかない生命にしたいものです。 (女性 70 代以上)
- 制度はもちろん大事にしっかりさせるべきだが、意識も必要なのではないか。 (女性 50 代)
- 人によって言葉、行動になど受け取るものが違うため、少し足りなかつたりすると不快に思ったりする。つまり相手の気持ちになって行動しなければいけないということだと思います。同じ人間なのだから、話せば分かり合えるはず、見た目で判断してはいけないと思います。自分達の将来を歩きやすいようにしてもらいたいです。 (女性 10 代)
- 今まで女性は一歩引いてきましたが、これはとてもいいことだと思います。社会で女性が大いに活躍してほしいです。 (女性 60 代)
- 大賛成である。男女平等に仕事も家庭生活も生きがいを持って取り組めるようになってほしいが、大手企業やお役所だけにとどまらず、末端の企業にも早い浸透を希望します。 (女性 50 代)
- ゴミ捨て当番、タオル洗濯当番があるのですが、最初から男性はメンバーに入っていないのを見ると、差を感じる。 (女性 40 代)
- 本市では男女共同参画社会の実現を目指しております、とありますが、当たり前のことで、国民皆意識を持っていると思いますので、別に実現を目指すほどのことでしょうか？もっとやるべきことがあるのではないのでしょうか。高齢者の問題を真剣に考えるべきではないのでしょうか。ごめんなさい保健福祉課がどんな仕事をなさっているかよくわからないものです。 (女性 60 代)
- 社会的には男女共同参画を取り入れている、また思考が多くなっていると思いますが、人によっては昔の考えが良いと思っている人もいます。男女共同参画がもっと浸透していったら良いなと思います。そうなることで、子どもができて育てていく時に、父、母が子に対し同じくらい関わりを持つことによって互いに良い関係を構築できると思うからです。なお、このアンケートの質問は少し難しく思いました。ポイントが分かりにくいと感じました。 (女性 20 代)
- 民間企業より、公的機関のほうが男女共同参画の意識が低いと感じます。 (女性 20 代)
- 男女共同参画といいつつも、まだまだ女性だからとか、男性だからという意識が強い。もっと平等に、男と女の前一人の人間としていろいろと生活しやすい地域になったらいいなと思う。 (女性 20 代)
- 人間は全て仲良くやるべきである。
- 男社会と感じています。
- 少子高齢化が進んでいくので、女性の社会への進出をもっと促し、生産年齢人口を増やしていくべきだと思います。 (男性 40 代)
- 老若男女、障害の有無等関係なく弱者にはやさしくすれば良い。 (男性 60 代)
- 女性が変に優遇されています。特に電車内における女性による男性差別等です。 (男性 20 代)
- 今の時代、男性は優しいです。奥様に対して家の手伝いもよくしていると思う。

IV 結果の数表

〔問1〕あなたは「静岡市男女共同参画推進条例」について、どの程度知っていますか。(○は1つ)

	全 体	条 例 の 理 念 や お お よ そ て い る	名 称 は 知 っ て い る	知 ら な い	無 回 答
全 体	1225	8.5	28.8	58.0	4.7
<性別> 男性	518	6.9	27.6	61.0	4.4
女性	664	9.9	30.7	54.5	4.8
<年齢> 10代	13	-	-	100.0	-
20代	114	13.2	25.4	58.8	2.6
30代	191	7.3	28.8	63.4	0.5
40代	205	8.3	28.3	63.4	-
50代	176	10.2	28.4	59.1	2.3
60代	266	8.3	34.6	51.5	5.6
70代以上	162	6.2	32.1	49.4	12.3
<居住地> 葵区	408	8.8	31.9	54.9	4.4
駿河区	378	9.3	29.4	56.3	5.0
清水区	424	7.3	26.4	61.6	4.7
その他	3	-	-	100.0	-
<職業> 勤め人	401	8.5	29.4	60.6	1.5
自営業	86	7.0	39.5	51.2	2.3
農林漁業	26	3.8	34.6	53.8	7.7
パート・アルバイト・派遣	216	8.8	29.2	58.8	3.2
専業主婦(夫)	160	7.5	33.1	56.3	3.1
学生	31	6.5	22.6	64.5	6.5
無職	264	8.3	23.5	56.8	11.4
その他	27	22.2	25.9	51.9	-
<未既婚> 未婚	232	11.6	23.7	61.2	3.4
既婚	791	7.7	31.9	57.3	3.2
離・死別	184	7.6	24.5	56.5	11.4
<末子> 乳児	49	6.1	18.4	75.5	-
未就学児	84	9.5	21.4	69.0	-
小学生	78	6.4	35.9	57.7	-
中学生	29	3.4	10.3	82.8	3.4
高校生	28	21.4	42.9	32.1	3.6
その他	73	11.0	31.5	57.5	-

〔問2〕あなたは、次の分野で男女は平等になっていると思いますか。（項目ごとに〇は1つずつ）

<家庭生活で>

	全 体	男性 が非常 に優遇	ど ちら かとい えば男 性	平 等	ど ちら かとい えば女 性	女 性 が非常 に優遇	わ から ない	無 回 答
全 体	1225	6.6	37.6	33.1	5.6	1.4	9.2	6.5
<性別> 男性	518	3.3	30.5	43.1	6.2	2.1	8.5	6.4
女性	664	9.3	42.9	25.5	5.4	0.9	9.3	6.6
<年齢> 10代	13	7.7	23.1	46.2	7.7	7.7	7.7	-
20代	114	3.5	30.7	39.5	9.6	0.9	14.0	1.8
30代	191	6.3	39.8	34.6	7.3	3.1	6.8	2.1
40代	205	7.8	40.0	33.7	3.4	2.4	10.2	2.4
50代	176	8.0	46.0	34.7	1.1	-	8.0	2.3
60代	266	7.1	38.7	33.1	7.1	0.4	7.1	6.4
70代以上	162	4.9	34.0	28.4	4.9	1.2	9.3	17.3
<居住地> 葵区	408	9.3	38.5	30.9	5.6	1.5	8.1	6.1
駿河区	378	4.5	35.4	36.2	6.3	2.1	9.5	5.8
清水区	424	6.1	38.4	32.8	5.2	0.7	9.4	7.3
その他	3	-	33.3	33.3	-	-	-	33.3
<職業> 勤め人	401	5.0	36.4	42.9	4.5	2.5	6.7	2.0
自営業	86	8.1	39.5	27.9	4.7	1.2	11.6	7.0
農林漁業	26	11.5	30.8	26.9	3.8	3.8	15.4	7.7
パート・アルバイト・派遣	216	9.7	50.5	22.2	2.8	-	9.3	5.6
専業主婦(夫)	160	7.5	38.1	34.4	8.8	0.6	6.3	4.4
学生	31	6.5	22.6	45.2	16.1	-	6.5	3.2
無職	264	5.7	31.1	27.3	8.0	1.5	11.7	14.8
その他	27	3.7	33.3	37.0	-	-	22.2	3.7
<未既婚> 未婚	232	4.7	34.1	35.8	4.7	0.9	14.2	5.6
既婚	791	7.5	38.9	35.3	6.2	1.6	6.4	4.0
離・死別	184	6.0	37.0	21.2	4.3	1.1	13.6	16.8
<末子> 乳児	49	4.1	30.6	42.9	12.2	-	10.2	-
未就学児	84	6.0	46.4	34.5	6.0	3.6	2.4	1.2
小学生	78	9.0	42.3	32.1	5.1	2.6	7.7	1.3
中学生	29	6.9	51.7	27.6	-	-	13.8	-
高校生	28	10.7	46.4	21.4	3.6	3.6	10.7	3.6
その他	73	9.6	37.0	37.0	4.1	1.4	8.2	2.7

〔問2〕あなたは、次の分野で男女は平等になっていると思いますか。（項目ごとに〇は1つずつ）

<職場>

	全 体	男性 が非常 に優遇	ど ち ら か と い え ば 男 性	平 等	ど ち ら か と い え ば 女 性	女 性 が 非 常 に 優 遇	わ か ら な い	無 回 答
全 体	1225	13.1	42.0	19.8	4.0	1.6	12.1	7.6
<性別> 男性	518	9.7	40.5	24.1	7.1	2.7	8.1	7.7
女性	664	16.1	43.1	17.0	1.7	0.8	14.3	7.1
<年齢> 10代	13	23.1	15.4	23.1	7.7	-	23.1	7.7
20代	114	12.3	35.1	28.1	7.0	4.4	9.6	3.5
30代	191	13.1	50.8	21.5	3.1	4.2	5.8	1.6
40代	205	15.1	47.8	21.5	4.9	1.0	8.3	1.5
50代	176	14.8	49.4	19.9	1.7	1.1	10.2	2.8
60代	266	13.2	41.4	19.9	5.6	-	12.8	7.1
70代以上	162	8.6	32.1	14.2	1.2	0.6	21.0	22.2
<居住地> 葵区	408	13.2	40.2	23.5	3.9	1.2	11.0	6.9
駿河区	378	12.7	45.0	17.2	4.5	2.1	11.6	6.9
清水区	424	13.4	41.0	18.9	3.8	1.4	12.7	8.7
その他	3	-	33.3	-	-	-	33.3	33.3
<職業> 勤め人	401	13.5	45.1	26.9	6.0	3.5	3.5	1.5
自営業	86	14.0	43.0	18.6	4.7	-	12.8	7.0
農林漁業	26	3.8	50.0	15.4	-	3.8	15.4	11.5
パート・アルバイト・派遣	216	18.1	40.3	21.8	3.2	0.5	11.6	4.6
専業主婦(夫)	160	14.4	47.5	10.6	1.9	0.6	17.5	7.5
学生	31	6.5	32.3	29.0	6.5	3.2	16.1	6.5
無職	264	9.8	36.7	12.9	3.4	0.4	18.9	17.8
その他	27	7.4	33.3	18.5	-	-	29.6	11.1
<未既婚> 未婚	232	11.6	38.4	24.6	7.8	0.9	10.3	6.5
既婚	791	13.1	44.6	20.4	3.3	1.9	10.6	6.1
離・死別	184	14.1	35.9	12.5	2.7	1.1	19.6	14.1
<末子> 乳児	49	16.3	46.9	16.3	4.1	8.2	6.1	2.0
未就学児	84	15.5	57.1	19.0	-	3.6	4.8	-
小学生	78	12.8	47.4	24.4	1.3	3.8	9.0	1.3
中学生	29	20.7	48.3	24.1	-	3.4	3.4	-
高校生	28	10.7	42.9	14.3	7.1	-	21.4	3.6
その他	73	12.3	50.7	20.5	2.7	1.4	9.6	2.7

〔問2〕あなたは、次の分野で男女は平等になっていると思いますか。（項目ごとに〇は1つずつ）

<学校教育の場で>

	全 体	男性が 非常に 優遇	どちら かとい えば男 性	平 等	ど ちら かとい えば女 性	女性 が非 常に 優遇	わ か ら な い	無 回 答
全 体	1225	1.6	9.4	55.8	2.9	1.0	20.9	8.5
<性別> 男性	518	0.8	7.1	60.2	4.4	1.2	17.0	9.3
女性	664	2.3	11.4	52.3	1.8	0.9	23.6	7.7
<年齢> 10代	13	7.7	15.4	46.2	23.1	-	7.7	-
20代	114	0.9	4.4	62.3	7.0	0.9	21.9	2.6
30代	191	1.6	8.9	64.9	3.1	1.0	18.8	1.6
40代	205	1.5	7.8	62.9	2.4	1.5	21.5	2.4
50代	176	-	15.3	56.3	2.3	0.6	21.6	4.0
60代	266	1.9	10.9	55.3	2.6	0.4	19.9	9.0
70代以上	162	0.6	6.8	42.6	1.2	0.6	24.1	24.1
<居住地> 葵区	408	1.7	7.8	59.6	3.2	0.7	19.6	7.4
駿河区	378	1.9	9.5	56.9	1.9	1.6	20.6	7.7
清水区	424	1.2	10.8	51.7	3.5	0.7	22.2	9.9
その他	3	-	-	33.3	33.3	-	-	33.3
<職業> 勤め人	401	0.5	8.5	65.1	3.2	1.0	19.5	2.2
自営業	86	2.3	10.5	54.7	4.7	1.2	11.6	15.1
農林漁業	26	-	3.8	53.8	7.7	-	23.1	11.5
パート・アルバイト・派遣	216	3.7	7.9	55.6	4.2	-	23.1	5.6
専業主婦(夫)	160	0.6	13.1	52.5	1.9	0.6	23.1	8.1
学生	31	-	6.5	71.0	12.9	3.2	3.2	3.2
無職	264	1.9	10.6	43.6	0.4	1.9	24.2	17.4
その他	27	3.7	7.4	51.9	-	-	25.9	11.1
<未既婚> 未婚	232	2.2	8.6	53.9	6.0	0.9	22.0	6.5
既婚	791	0.9	9.2	59.7	2.0	0.9	20.4	7.0
離・死別	184	3.8	10.9	42.9	3.3	1.1	21.7	16.3
<末子> 乳児	49	-	6.1	67.3	2.0	-	24.5	-
未就学児	84	-	9.5	73.8	1.2	-	15.5	-
小学生	78	3.8	7.7	73.1	2.6	3.8	7.7	1.3
中学生	29	-	3.4	62.1	10.3	3.4	20.7	-
高校生	28	-	21.4	57.1	-	-	17.9	3.6
その他	73	-	15.1	65.8	-	1.4	12.3	5.5

〔問2〕あなたは、次の分野で男女は平等になっていると思いますか。（項目ごとに〇は1つずつ）

<地域で>

	全 体	男性が 非常に 優遇	ど ち ら か と い え ば 男 性	平 等	ど ち ら か と い え ば 女 性	女 性 が 非 常 に 優 遇	わ か ら な い	無 回 答
全 体	1225	5.0	26.7	34.4	4.2	0.5	21.5	7.7
<性別> 男性	518	2.3	19.9	44.4	5.2	0.8	19.9	7.5
女性	664	7.4	31.8	27.9	3.5	0.3	21.8	7.4
<年齢> 10代	13	7.7	7.7	15.4	-	-	61.5	7.7
20代	114	1.8	18.4	42.1	3.5	-	30.7	3.5
30代	191	6.3	24.6	37.7	4.2	1.0	24.1	2.1
40代	205	6.8	22.9	39.0	3.9	0.5	25.4	1.5
50代	176	4.5	35.8	33.5	2.8	-	21.0	2.3
60代	266	4.9	33.1	33.1	6.4	0.4	15.4	6.8
70代以上	162	3.1	22.8	31.5	3.1	1.2	16.0	22.2
<居住地> 葵区	408	5.1	25.7	33.6	5.4	0.7	21.6	7.8
駿河区	378	5.0	26.7	35.4	4.0	0.5	21.7	6.6
清水区	424	4.7	27.6	35.1	3.5	0.2	20.5	8.3
その他	3	33.3	-	-	-	-	33.3	33.3
<職業> 勤め人	401	4.5	24.4	42.1	5.0	0.5	21.9	1.5
自営業	86	5.8	22.1	43.0	8.1	-	11.6	9.3
農林漁業	26	7.7	26.9	26.9	3.8	-	19.2	15.4
パート・アルバイト・派遣	216	6.5	33.3	29.2	2.8	0.9	22.2	5.1
専業主婦(夫)	160	6.9	34.4	25.6	3.1	-	23.8	6.3
学生	31	3.2	16.1	38.7	6.5	-	29.0	6.5
無職	264	3.8	23.1	30.7	3.4	0.8	20.5	17.8
その他	27	-	22.2	37.0	7.4	-	25.9	7.4
<未既婚> 未婚	232	2.6	19.4	37.1	4.7	-	28.9	7.3
既婚	791	5.4	27.9	36.5	4.2	0.6	19.7	5.6
離・死別	184	6.5	29.9	24.5	3.8	0.5	19.0	15.8
<末子> 乳児	49	8.2	22.4	30.6	6.1	-	30.6	2.0
未就学児	84	3.6	22.6	46.4	4.8	-	22.6	-
小学生	78	11.5	29.5	41.0	3.8	1.3	11.5	1.3
中学生	29	6.9	27.6	37.9	6.9	-	20.7	-
高校生	28	7.1	35.7	32.1	-	-	21.4	3.6
その他	73	6.8	32.9	34.2	9.6	-	11.0	5.5

〔問2〕あなたは、次の分野で男女は平等になっていると思いますか。（項目ごとに〇は1つずつ）

<政治の場で>

	全 体	男性 が非常 に優遇	ど ち ら か と い え ば 男 性	平 等	ど ち ら か と い え ば 女 性	女 性 が 非 常 に 優 遇	わ か ら な い	無 回 答
全 体	1225	27.9	41.0	10.9	1.2	0.3	11.6	7.1
<性別> 男性	518	21.2	42.9	14.7	1.5	0.4	12.0	7.3
女性	664	33.7	39.8	8.0	1.1	0.2	10.7	6.6
<年齢> 10代	13	15.4	61.5	7.7	-	-	7.7	7.7
20代	114	36.0	41.2	7.9	1.8	-	10.5	2.6
30代	191	35.1	44.5	6.8	0.5	-	11.0	2.1
40代	205	35.1	44.4	6.8	0.5	1.0	9.8	2.4
50代	176	31.8	46.6	11.4	-	-	8.0	2.3
60代	266	24.4	39.5	15.8	3.0	0.8	10.2	6.4
70代以上	162	15.4	34.0	14.2	0.6	-	17.9	17.9
<居住地> 葵区	408	29.2	40.4	12.0	1.7	0.2	9.6	6.9
駿河区	378	30.7	40.2	8.5	1.6	0.8	12.2	6.1
清水区	424	24.3	42.5	12.0	0.5	-	12.7	8.0
その他	3	33.3	33.3	-	-	-	-	33.3
<職業> 勤め人	401	29.4	46.4	10.2	1.5	0.7	10.0	1.7
自営業	86	23.3	44.2	15.1	1.2	-	7.0	9.3
農林漁業	26	15.4	46.2	15.4	-	-	11.5	11.5
パート・アルバイト・派遣	216	37.0	37.5	8.8	0.9	0.5	10.2	5.1
専業主婦(夫)	160	35.6	36.9	10.0	0.6	-	12.5	4.4
学生	31	29.0	48.4	12.9	-	-	3.2	6.5
無職	264	17.8	36.4	12.1	1.5	-	15.9	16.3
その他	27	14.8	44.4	11.1	3.7	-	18.5	7.4
<未既婚> 未婚	232	31.0	39.7	8.6	0.9	0.9	12.5	6.5
既婚	791	27.8	43.6	11.3	1.4	0.1	10.6	5.2
離・死別	184	23.9	33.7	12.5	1.1	0.5	13.6	14.7
<末子> 乳児	49	36.7	38.8	10.2	2.0	-	12.2	-
未就学児	84	34.5	51.2	4.8	1.2	-	7.1	1.2
小学生	78	32.1	50.0	3.8	1.3	1.3	9.0	2.6
中学生	29	44.8	48.3	3.4	-	-	3.4	-
高校生	28	25.0	46.4	17.9	-	-	3.6	7.1
その他	73	24.7	47.9	11.0	2.7	-	9.6	4.1

〔問2〕あなたは、次の分野で男女は平等になっていると思いますか。（項目ごとに〇は1つずつ）
 <法律や制度の上で>

	全 体	男性 が非常 に優遇	ど ちら かとい えば男 性	平 等	ど ちら かとい えば女 性	女 性 が非常 に優遇	わ か ら な い	無 回 答
全 体	1225	8.7	27.7	30.9	5.6	1.2	17.8	8.1
<性別> 男性	518	4.4	21.2	41.5	7.9	2.3	14.7	7.9
女性	664	12.5	32.5	23.2	3.9	0.5	19.4	8.0
<年齢> 10代	13	-	30.8	30.8	-	7.7	23.1	7.7
20代	114	8.8	23.7	33.3	8.8	1.8	21.1	2.6
30代	191	11.5	30.4	23.6	10.5	3.1	19.4	1.6
40代	205	13.2	31.2	27.3	4.9	1.5	19.5	2.4
50代	176	8.0	34.1	34.1	5.7	0.6	15.3	2.3
60代	266	8.3	25.9	37.2	6.4	0.4	13.9	7.9
70代以上	162	4.9	22.2	30.9	0.6	-	19.1	22.2
<居住地> 葵区	408	8.8	29.7	31.1	4.7	1.0	17.2	7.6
駿河区	378	9.3	24.6	33.3	7.1	0.8	18.0	6.9
清水区	424	8.5	28.1	29.0	5.4	1.9	17.7	9.4
その他	3	-	33.3	-	-	-	33.3	33.3
<職業> 勤め人	401	9.7	24.2	37.2	8.2	2.2	16.5	2.0
自営業	86	8.1	34.9	27.9	5.8	-	11.6	11.6
農林漁業	26	-	26.9	42.3	-	3.8	15.4	11.5
パート・アルバイト・派遣	216	11.1	34.3	21.8	6.0	0.9	19.9	6.0
専業主婦(夫)	160	11.3	31.3	25.6	4.4	-	20.6	6.9
学生	31	3.2	29.0	38.7	-	6.5	16.1	6.5
無職	264	6.1	24.2	31.4	2.7	0.4	18.2	17.0
その他	27	7.4	14.8	33.3	14.8	-	18.5	11.1
<未既婚> 未婚	232	7.8	24.6	31.9	6.0	3.0	20.3	6.5
既婚	791	9.2	28.7	32.2	6.1	1.0	16.7	6.1
離・死別	184	7.6	27.2	25.5	3.8	-	18.5	17.4
<末子> 乳児	49	10.2	30.6	24.5	14.3	2.0	18.4	-
未就学児	84	13.1	35.7	26.2	8.3	2.4	14.3	-
小学生	78	14.1	39.7	15.4	9.0	2.6	16.7	2.6
中学生	29	3.4	41.4	41.4	-	-	13.8	-
高校生	28	7.1	32.1	32.1	3.6	-	21.4	3.6
その他	73	6.8	34.2	30.1	4.1	1.4	17.8	5.5

〔問2〕あなたは、次の分野で男女は平等になっていると思いますか。（項目ごとに〇は1つずつ）

<社会通念・慣習・しきたりなどで>

	全 体	男性 が非 常に 優遇	ど ち ら か と い え ば 男 性	平 等	ど ち ら か と い え ば 女 性	女 性 が 非 常 に 優 遇	わ か ら な い	無 回 答
全 体	1225	17.0	50.7	12.0	2.3	0.2	10.7	7.1
<性別> 男性	518	11.6	51.7	17.0	2.3	0.4	9.8	7.1
女性	664	21.7	50.0	8.4	2.3	0.2	10.7	6.8
<年齢> 10代	13	15.4	53.8	15.4	-	-	7.7	7.7
20代	114	14.9	45.6	17.5	5.3	0.9	13.2	2.6
30代	191	22.5	52.4	11.5	2.6	-	8.4	2.6
40代	205	20.0	53.2	11.2	2.0	0.5	11.2	2.0
50代	176	22.7	58.0	7.4	1.1	0.6	8.5	1.7
60代	266	15.4	55.3	12.0	1.9	-	7.9	7.5
70代以上	162	8.6	38.9	17.3	1.9	-	14.8	18.5
<居住地> 葵区	408	15.9	50.5	15.0	2.0	-	9.3	7.4
駿河区	378	17.2	52.6	10.3	2.4	0.5	10.8	6.1
清水区	424	18.2	49.5	10.8	2.4	0.2	11.3	7.5
その他	3	-	-	33.3	-	-	33.3	33.3
<職業> 勤め人	401	19.0	53.9	14.2	2.7	0.5	7.5	2.2
自営業	86	16.3	48.8	15.1	1.2	-	5.8	12.8
農林漁業	26	19.2	34.6	19.2	-	-	15.4	11.5
パート・アルバイト・派遣	216	19.9	53.7	6.5	2.8	-	12.0	5.1
専業主婦(夫)	160	19.4	55.6	8.8	2.5	-	8.1	5.6
学生	31	12.9	48.4	19.4	-	3.2	9.7	6.5
無職	264	11.4	45.8	12.5	1.5	-	15.2	13.6
その他	27	14.8	33.3	14.8	3.7	-	25.9	7.4
<未既婚> 未婚	232	15.1	47.8	13.4	3.4	0.4	13.8	6.0
既婚	791	17.8	54.4	12.3	1.4	0.3	8.5	5.4
離・死別	184	15.8	40.2	10.3	4.3	-	15.2	14.1
<末子> 乳児	49	22.4	51.0	12.2	6.1	-	6.1	2.0
未就学児	84	19.0	56.0	15.5	-	-	8.3	1.2
小学生	78	20.5	52.6	12.8	1.3	1.3	9.0	2.6
中学生	29	17.2	75.9	6.9	-	-	-	-
高校生	28	21.4	42.9	17.9	-	-	14.3	3.6
その他	73	17.8	53.4	13.7	1.4	-	9.6	4.1

〔問2〕あなたは、次の分野で男女は平等になっていると思いますか。（項目ごとに〇は1つずつ）

<社会全体として>

	全 体	男性 が非常 に優遇	ど ち ら か と い え ば 男 性	平 等	ど ち ら か と い え ば 女 性	女 性 が 非 常 に 優 遇	わ か ら な い	無 回 答
全 体	1225	10.0	54.7	14.0	3.0	0.6	11.3	6.4
<性別> 男性	518	6.4	51.7	20.7	4.8	1.0	8.9	6.6
女性	664	13.3	57.1	9.3	1.7	0.3	12.3	6.0
<年齢> 10代	13	23.1	38.5	7.7	-	-	23.1	7.7
20代	114	11.4	52.6	15.8	3.5	0.9	13.2	2.6
30代	191	11.5	60.7	12.0	3.1	1.0	9.9	1.6
40代	205	13.7	59.5	11.2	3.4	0.5	9.8	2.0
50代	176	11.4	60.2	13.6	3.4	0.6	8.5	2.3
60代	266	7.1	59.4	15.0	2.6	0.4	8.6	6.8
70代以上	162	6.2	40.1	17.9	2.5	0.6	16.0	16.7
<居住地> 葵区	408	10.0	54.4	15.2	4.2	0.5	9.3	6.4
駿河区	378	9.8	56.1	12.7	2.6	0.5	12.7	5.6
清水区	424	10.4	54.0	14.4	2.1	0.7	11.3	7.1
その他	3	-	33.3	-	-	-	33.3	33.3
<職業> 勤め人	401	11.2	59.1	16.5	4.0	0.7	6.7	1.7
自営業	86	9.3	54.7	17.4	7.0	1.2	4.7	5.8
農林漁業	26	-	61.5	11.5	-	3.8	11.5	11.5
パート・アルバイト・派遣	216	13.4	58.3	6.9	3.2	-	13.0	5.1
専業主婦(夫)	160	9.4	58.1	10.6	2.5	0.6	13.8	5.0
学生	31	3.2	58.1	12.9	-	3.2	16.1	6.5
無職	264	8.3	44.7	16.7	1.1	-	15.2	14.0
その他	27	7.4	40.7	22.2	-	-	22.2	7.4
<未既婚> 未婚	232	9.9	51.7	13.4	3.0	0.4	15.1	6.5
既婚	791	10.5	57.5	14.8	2.8	0.8	9.4	4.3
離・死別	184	7.6	48.4	12.5	3.8	-	13.6	14.1
<末子> 乳児	49	12.2	53.1	14.3	8.2	-	12.2	-
未就学児	84	9.5	67.9	13.1	3.6	-	6.0	-
小学生	78	15.4	59.0	11.5	1.3	2.6	7.7	2.6
中学生	29	17.2	72.4	6.9	-	-	3.4	-
高校生	28	7.1	57.1	21.4	-	-	10.7	3.6
その他	73	9.6	61.6	13.7	2.7	-	8.2	4.1

〔問3〕あなたは「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)」について、どの程度知っていますか。(○は1つ)

	全 体	言葉と意味の両方を知	言葉は知っている	知らない	無回答
全 体	1225	15.7	24.0	55.0	5.3
<性別> 男性	518	18.1	23.7	51.7	6.4
女性	664	14.0	24.5	57.2	4.2
<年齢> 10代	13	-	23.1	76.9	-
20代	114	23.7	23.7	51.8	0.9
30代	191	28.3	22.0	48.7	1.0
40代	205	22.9	20.0	54.6	2.4
50代	176	16.5	22.2	57.4	4.0
60代	266	8.6	30.8	55.6	4.9
70代以上	162	4.3	24.1	56.2	15.4
<居住地> 葵区	408	16.7	22.3	55.9	5.1
駿河区	378	19.8	24.6	49.7	5.8
清水区	424	11.3	25.5	58.5	4.7
その他	3	-	-	100.0	-
<職業> 勤め人	401	26.7	25.9	45.1	2.2
自営業	86	12.8	30.2	53.5	3.5
農林漁業	26	-	26.9	65.4	7.7
パート・アルバイト・派遣	216	12.0	22.2	60.6	5.1
専業主婦(夫)	160	10.0	22.5	63.1	4.4
学生	31	12.9	22.6	61.3	3.2
無職	264	8.3	21.6	59.5	10.6
その他	27	18.5	25.9	55.6	-
<未既婚> 未婚	232	20.7	17.2	57.3	4.7
既婚	791	16.6	26.4	53.4	3.7
離・死別	184	6.5	23.4	58.7	11.4
<末子> 乳児	49	30.6	14.3	55.1	-
未就学児	84	27.4	27.4	44.0	1.2
小学生	78	25.6	25.6	47.4	1.3
中学生	29	13.8	31.0	51.7	3.4
高校生	28	32.1	10.7	50.0	7.1
その他	73	8.2	24.7	65.8	1.4

IV 集計表

[問4] あなたが1日に行う家事(育児や介護を含む)の時間と、仕事(収入を得るための労働)の時間は、それぞれ平均どの位ですか。
 ()内に時間をお書きください。(数値を記入)

<家事>

	全 体	0 時 間	〃 1 時 間 未 満	1 時 間 以 上 〃 2 時 間 未	2 時 間 以 上 〃 3 時 間 未	3 時 間 以 上 〃 4 時 間 未	4 時 間 以 上 〃 5 時 間 未	5 時 間 以 上 〃 6 時 間 未	6 時 間 以 上 〃 7 時 間 未	7 時 間 以 上 〃 8 時 間 未	8 時 間 以 上	無 回 答
全 体	1225	6.9	10.5	13.6	10.4	9.9	6.6	6.7	5.2	1.7	9.3	19.1
<性別> 男性	518	12.2	21.4	23.4	10.4	4.1	1.4	0.6	0.8	-	1.9	23.9
女性	664	2.1	2.4	6.5	10.4	14.5	10.8	11.3	8.7	3.0	15.2	15.1
<年齢> 10代	13	15.4	15.4	23.1	7.7	-	-	-	-	-	-	38.5
20代	114	12.3	16.7	17.5	16.7	7.0	2.6	2.6	4.4	0.9	0.9	18.4
30代	191	3.7	16.8	15.7	10.5	7.9	7.9	5.2	3.7	2.1	20.4	6.3
40代	205	7.3	12.7	14.6	7.3	11.7	8.8	6.8	4.9	2.0	14.1	9.8
50代	176	3.4	11.4	17.0	13.6	12.5	8.0	9.1	5.7	2.3	7.4	9.7
60代	266	8.3	6.8	11.7	10.9	10.9	5.6	10.9	7.1	1.9	7.1	18.8
70代以上	162	4.9	4.3	10.5	6.8	9.3	6.2	4.3	5.6	1.2	6.8	40.1
<居住地> 葵区	408	5.6	11.0	16.2	9.8	7.4	7.4	6.6	6.6	2.2	7.6	19.6
駿河区	378	9.0	13.0	13.0	11.1	9.5	5.8	6.3	5.0	1.1	11.1	15.1
清水区	424	6.4	8.0	11.8	10.4	12.7	6.6	7.3	4.0	1.9	9.4	21.5
その他	3	-	-	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	33.3
<職業> 勤め人	401	9.5	21.9	21.9	13.7	9.5	5.5	2.5	1.2	1.5	3.5	9.2
自営業	86	4.7	8.1	25.6	12.8	7.0	5.8	3.5	2.3	-	8.1	22.1
農林漁業	26	11.5	19.2	7.7	7.7	7.7	-	3.8	3.8	3.8	3.8	30.8
パート・アルバイト・派遣	216	3.2	3.2	6.5	10.2	15.3	9.7	14.4	13.4	2.3	11.1	10.6
専業主婦(夫)	160	-	-	1.9	3.8	10.0	8.8	15.0	8.8	5.0	31.3	15.6
学生	31	9.7	12.9	19.4	19.4	3.2	-	-	-	-	-	35.5
無職	264	10.6	5.3	10.6	9.1	8.7	5.7	4.9	3.4	0.4	5.3	36.0
その他	27	3.7	11.1	11.1	-	3.7	11.1	-	11.1	-	11.1	37.0
<未既婚> 未婚	232	9.9	14.2	21.1	12.5	7.3	4.7	3.4	0.9	-	2.2	23.7
既婚	791	6.2	11.5	13.1	9.2	9.7	7.0	8.2	7.0	2.4	11.5	14.2
離・死別	184	6.0	2.2	7.1	13.6	14.1	7.6	4.3	3.3	1.1	8.7	32.1
<末子> 乳児	49	6.1	12.2	8.2	10.2	6.1	4.1	-	6.1	2.0	36.7	8.2
未就学児	84	1.2	19.0	19.0	6.0	2.4	9.5	7.1	4.8	3.6	23.8	3.6
小学生	78	3.8	19.2	5.1	2.6	12.8	10.3	6.4	9.0	3.8	21.8	5.1
中学生	29	6.9	13.8	13.8	6.9	3.4	10.3	3.4	-	6.9	31.0	3.4
高校生	28	17.9	14.3	3.6	14.3	10.7	3.6	7.1	10.7	-	10.7	7.1
その他	73	1.4	5.5	11.0	11.0	13.7	8.2	11.0	8.2	4.1	11.0	15.1

IV 集計表

〔問4〕あなたが1日に行う家事(育児や介護を含む)の時間と、仕事(収入を得るための労働)の時間は、それぞれ平均どの位ですか。

()内に時間をお書きください。(数値を記入)

<仕事>

	全 体	0 時 間	〃 1 時 間 未 満	1 時 間 以 上 〃 2 時 間 未	2 時 間 以 上 〃 3 時 間 未	3 時 間 以 上 〃 4 時 間 未	4 時 間 以 上 〃 5 時 間 未	5 時 間 以 上 〃 6 時 間 未	6 時 間 以 上 〃 7 時 間 未	7 時 間 以 上 〃 8 時 間 未	8 時 間 以 上	無 回 答
全 体	1225	11.7	0.2	1.2	1.1	2.5	3.5	2.9	4.7	4.5	39.8	27.8
<性別> 男性	518	10.2	0.6	1.2	0.6	1.0	1.0	1.9	2.9	3.3	57.3	20.1
女性	664	12.3	-	1.4	1.5	3.5	5.4	3.9	6.0	5.4	27.4	33.1
<年齢> 10代	13	38.5	-	-	15.4	-	-	-	-	-	7.7	38.5
20代	114	7.0	0.9	1.8	0.9	0.9	1.8	2.6	6.1	4.4	59.6	14.0
30代	191	10.5	0.5	0.5	0.5	2.6	2.1	2.6	4.7	5.2	59.7	11.0
40代	205	10.2	-	-	0.5	2.0	3.9	3.9	4.9	3.4	61.0	10.2
50代	176	6.8	-	1.1	1.1	1.7	3.4	3.4	6.8	5.1	58.0	12.5
60代	266	11.7	-	2.3	1.1	3.4	4.9	3.0	5.3	7.9	24.1	36.5
70代以上	162	17.3	0.6	1.2	1.2	3.7	4.9	3.7	1.2	0.6	5.6	59.9
<居住地> 葵区	408	10.0	0.5	1.7	1.7	2.2	4.7	3.2	5.6	3.4	40.4	26.5
駿河区	378	13.8	0.3	0.8	0.8	3.2	3.2	2.9	4.0	4.0	43.4	23.8
清水区	424	11.1	-	0.9	0.9	2.1	2.6	2.8	4.5	5.9	37.5	31.6
その他	3	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	33.3
<職業> 勤め人	401	1.7	0.2	-	0.2	1.0	1.0	0.5	1.5	3.5	87.8	2.5
自営業	86	-	-	2.3	2.3	4.7	3.5	4.7	5.8	4.7	59.3	12.8
農林漁業	26	-	-	-	3.8	11.5	3.8	3.8	15.4	19.2	15.4	26.9
パート・アルバイト・派遣	216	-	-	2.3	2.3	5.6	11.6	11.6	16.2	13.9	31.9	4.6
専業主婦(夫)	160	28.1	-	1.9	-	2.5	1.9	-	0.6	-	0.6	64.4
学生	31	22.6	3.2	6.5	9.7	3.2	6.5	-	3.2	-	9.7	35.5
無職	264	29.9	0.4	0.8	0.8	0.8	0.4	1.1	1.5	0.4	1.1	62.9
その他	27	11.1	-	3.7	-	-	11.1	3.7	3.7	-	18.5	48.1
<未既婚> 未婚	232	8.2	0.4	1.7	1.3	0.4	1.7	1.7	3.9	3.0	56.9	20.7
既婚	791	12.4	0.3	1.4	0.9	3.0	3.8	3.8	5.4	4.3	40.3	24.4
離・死別	184	13.0	-	-	2.2	2.7	4.3	1.1	2.7	7.1	19.6	47.3
<末子> 乳児	49	24.5	-	-	-	2.0	-	-	-	-	53.1	20.4
未就学児	84	10.7	1.2	1.2	-	2.4	2.4	4.8	7.1	6.0	57.1	7.1
小学生	78	7.7	-	-	-	5.1	6.4	6.4	9.0	5.1	55.1	5.1
中学生	29	10.3	-	-	-	3.4	3.4	3.4	6.9	-	55.2	17.2
高校生	28	10.7	-	-	3.6	3.6	3.6	-	3.6	7.1	57.1	10.7
その他	73	6.8	-	-	-	-	6.8	6.8	6.8	8.2	37.0	27.4

〔問5〕一般的に女性が職業を持つことについて、どう考えますか。(○は1つ)

	全 体	女性 は職業 をもた ない	結 婚す るま で職 業を も	い 子 ど も が で き る ま で は ほ う が よ	職 業 を も つ ほ ら 再 び	ず つ と 職 業 を 続 け る ほ	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答
全 体	1225	1.2	3.6	5.1	38.3	32.0	8.6	6.9	4.3
<性別> 男性	518	1.7	3.5	6.2	35.3	33.0	8.5	6.4	5.4
女性	664	0.8	3.5	4.4	41.0	31.3	8.3	7.5	3.3
<年齢> 10代	13	-	7.7	7.7	53.8	15.4	7.7	7.7	-
20代	114	0.9	3.5	6.1	38.6	33.3	7.0	8.8	1.8
30代	191	2.1	1.6	7.3	31.9	36.1	9.4	10.5	1.0
40代	205	-	4.4	3.9	33.2	35.6	11.7	10.2	1.0
50代	176	1.1	2.8	4.0	38.6	36.4	6.3	9.1	1.7
60代	266	0.4	2.6	4.1	45.9	30.8	7.5	4.1	4.5
70代以上	162	2.5	5.6	5.6	42.6	22.8	6.8	2.5	11.7
<居住地> 葵区	408	1.2	3.7	5.4	40.4	29.7	8.8	6.6	4.2
駿河区	378	0.3	3.4	4.8	37.8	32.5	9.5	7.1	4.5
清水区	424	2.1	3.5	5.4	37.7	33.0	7.3	6.8	4.0
その他	3	-	-	-	-	33.3	-	33.3	33.3
<職業> 勤め人	401	0.7	2.2	4.5	35.7	39.4	7.7	8.5	1.2
自営業	86	2.3	4.7	8.1	37.2	31.4	5.8	7.0	3.5
農林漁業	26	3.8	7.7	-	34.6	26.9	11.5	3.8	11.5
パート・アルバイト・派遣	216	0.9	2.3	3.7	41.7	33.3	7.9	6.9	3.2
専業主婦(夫)	160	0.6	5.6	5.6	45.6	22.5	10.0	8.1	1.9
学生	31	-	3.2	9.7	35.5	22.6	12.9	12.9	3.2
無職	264	1.9	4.2	6.4	38.3	28.8	8.0	2.7	9.8
その他	27	3.7	7.4	3.7	33.3	11.1	18.5	14.8	7.4
<未既婚> 未婚	232	1.3	4.7	6.9	37.5	29.7	6.0	10.3	3.4
既婚	791	1.1	3.0	4.4	39.4	33.4	8.8	6.7	3.0
離・死別	184	1.6	4.3	6.0	35.3	29.3	10.3	3.8	9.2
<末子> 乳児	49	-	4.1	6.1	36.7	32.7	8.2	12.2	-
未就学児	84	1.2	2.4	4.8	27.4	41.7	14.3	8.3	-
小学生	78	1.3	3.8	2.6	37.2	42.3	7.7	5.1	-
中学生	29	-	-	3.4	31.0	37.9	17.2	10.3	-
高校生	28	-	3.6	3.6	32.1	39.3	7.1	10.7	3.6
その他	73	2.7	2.7	2.7	43.8	35.6	5.5	5.5	1.4

〔問6〕男性が「育児休暇」や「介護休暇」を取ることに、どう思いますか。(○は1つ)

	全 体	賛 成 す る	反 対 す る	ど ち ら と も い え な い	無 回 答
全 体	1225	64.1	2.0	29.4	4.5
<性別> 男性	518	58.9	2.3	33.0	5.8
女性	664	68.5	1.7	26.5	3.3
<年齢> 10代	13	69.2	-	30.8	-
20代	114	75.4	0.9	21.9	1.8
30代	191	76.4	2.1	20.9	0.5
40代	205	74.1	1.5	23.9	0.5
50代	176	71.6	1.1	25.0	2.3
60代	266	55.3	2.3	38.7	3.8
70代以上	162	43.2	4.3	40.1	12.3
<居住地> 葵区	408	63.7	2.2	29.7	4.4
駿河区	378	65.3	1.9	28.6	4.2
清水区	424	63.7	1.9	30.0	4.5
その他	3	66.7	-	-	33.3
<職業> 勤め人	401	68.1	0.7	29.4	1.7
自営業	86	54.7	4.7	36.0	4.7
農林漁業	26	38.5	3.8	46.2	11.5
パート・アルバイト・派遣	216	74.1	2.3	21.8	1.9
専業主婦(夫)	160	68.1	3.1	26.9	1.9
学生	31	74.2	-	22.6	3.2
無職	264	53.4	2.7	33.7	10.2
その他	27	59.3	-	33.3	7.4
<未既婚> 未婚	232	70.7	0.4	25.9	3.0
既婚	791	64.7	2.4	29.6	3.3
離・死別	184	54.9	2.7	32.6	9.8
<末子> 乳児	49	67.3	4.1	28.6	-
未就学児	84	79.8	-	20.2	-
小学生	78	73.1	3.8	23.1	-
中学生	29	75.9	-	24.1	-
高校生	28	71.4	-	21.4	7.1
その他	73	61.6	2.7	34.2	1.4

〔問7〕 社会における女性の活躍状況について、国際機関が各国を順位づけしていることを知っていますか。(○は1つ)

	全 体	知 っ て い る	知 ら な い	無 回 答
全 体	1225	34.5	61.4	4.1
<性別> 男性	518	37.8	57.1	5.0
女性	664	32.2	64.6	3.2
<年齢> 10代	13	7.7	92.3	-
20代	114	31.6	66.7	1.8
30代	191	37.7	61.8	0.5
40代	205	36.1	63.4	0.5
50代	176	39.8	58.5	1.7
60代	266	36.8	59.8	3.4
70代以上	162	26.5	60.5	13.0
<居住地> 葵区	408	35.0	61.3	3.7
駿河区	378	38.4	57.7	4.0
清水区	424	30.0	65.6	4.5
その他	3	66.7	33.3	-
<職業> 勤め人	401	41.9	57.1	1.0
自営業	86	36.0	58.1	5.8
農林漁業	26	19.2	69.2	11.5
パート・アルバイト・派遣	216	25.9	72.2	1.9
専業主婦(夫)	160	30.6	67.5	1.9
学生	31	32.3	64.5	3.2
無職	264	34.1	56.4	9.5
その他	27	29.6	66.7	3.7
<未既婚> 未婚	232	32.8	64.2	3.0
既婚	791	36.0	61.3	2.7
離・死別	184	30.4	59.8	9.8
<末子> 乳児	49	40.8	59.2	-
未就学児	84	36.9	63.1	-
小学生	78	38.5	61.5	-
中学生	29	31.0	69.0	-
高校生	28	42.9	53.6	3.6
その他	73	34.2	64.4	1.4

〔問8〕自分や知り合いがDVやセクハラ被害に遭ったとき、どこに相談すればよいか知っていますか。(〇は1つ)

	全 体	もD 、V 両 方 害 の 相 談 先 も セ 相 談 先	D V 被 害 の 相 談 先 の み	セ ク ハ ラ 被 害 の 相 談 先 る	ど ち ら も 知 ら な い	無 回 答
全 体	1225	18.7	6.4	3.1	67.5	4.2
<性別> 男性	518	24.1	4.4	3.9	64.1	3.5
女性	664	14.8	7.8	2.4	70.2	4.8
<年齢> 10代	13	23.1	-	-	76.9	-
20代	114	18.4	2.6	4.4	71.9	2.6
30代	191	19.4	6.8	3.1	69.6	1.0
40代	205	19.0	9.3	3.9	66.8	1.0
50代	176	24.4	5.1	1.1	67.6	1.7
60代	266	15.8	9.4	2.6	68.0	4.1
70代以上	162	19.8	3.7	2.5	61.7	12.3
<居住地> 葵区	408	17.6	7.4	3.4	67.2	4.4
駿河区	378	21.7	7.1	3.2	64.3	3.7
清水区	424	17.5	5.0	2.6	70.8	4.2
その他	3	-	-	-	100.0	-
<職業> 勤め人	401	23.4	5.5	3.2	66.1	1.7
自営業	86	14.0	7.0	1.2	72.1	5.8
農林漁業	26	15.4	3.8	7.7	69.2	3.8
パート・アルバイト・派遣	216	16.7	7.9	4.6	67.1	3.7
専業主婦(夫)	160	13.1	7.5	-	77.5	1.9
学生	31	19.4	-	6.5	74.2	-
無職	264	20.1	6.1	3.4	62.1	8.3
その他	27	7.4	11.1	-	74.1	7.4
<未既婚> 未婚	232	19.4	4.7	3.0	69.0	3.9
既婚	791	19.7	6.3	2.9	68.0	3.0
離・死別	184	13.6	8.7	3.8	64.7	9.2
<末子> 乳児	49	16.3	2.0	4.1	75.5	2.0
未就学児	84	20.2	8.3	1.2	70.2	-
小学生	78	24.4	9.0	6.4	60.3	-
中学生	29	13.8	6.9	-	79.3	-
高校生	28	17.9	7.1	7.1	60.7	7.1
その他	73	19.2	8.2	4.1	67.1	1.4

〔問9〕女性の健康と自らそれを守る権利に対し周囲の理解が求められていますが、あなたはそれについてどう思いますか。(○は1つ)

	全 体	十 分 に 配 慮 す べ き	少 し は 配 慮 す べ き	配 慮 は 特 に 必 要 な い	無 回 答
全 体	1225	70.9	23.3	1.6	4.1
<性別> 男性	518	71.8	22.0	2.3	3.9
女性	664	70.3	24.5	1.1	4.1
<年齢> 10代	13	69.2	30.8	-	-
20代	114	73.7	20.2	3.5	2.6
30代	191	73.3	22.5	2.6	1.6
40代	205	69.3	28.3	2.0	0.5
50代	176	76.1	22.2	0.6	1.1
60代	266	69.5	25.2	1.1	4.1
70代以上	162	69.1	20.4	1.2	9.3
<居住地> 葵区	408	71.6	21.8	2.2	4.4
駿河区	378	68.3	26.5	1.3	4.0
清水区	424	73.1	22.2	1.2	3.5
その他	3	33.3	33.3	-	33.3
<職業> 勤め人	401	73.3	22.7	2.2	1.7
自営業	86	74.4	20.9	-	4.7
農林漁業	26	50.0	38.5	7.7	3.8
パート・アルバイト・派遣	216	63.4	33.3	1.4	1.9
専業主婦(夫)	160	75.6	22.5	0.6	1.3
学生	31	61.3	35.5	3.2	-
無職	264	73.5	16.3	1.1	9.1
その他	27	70.4	14.8	-	14.8
<未既婚> 未婚	232	69.8	24.1	2.2	3.9
既婚	791	72.4	23.1	1.5	2.9
離・死別	184	65.2	25.0	1.1	8.7
<末子> 乳児	49	73.5	22.4	2.0	2.0
未就学児	84	78.6	20.2	1.2	-
小学生	78	57.7	39.7	2.6	-
中学生	29	65.5	34.5	-	-
高校生	28	78.6	14.3	3.6	3.6
その他	73	69.9	27.4	1.4	1.4

付録 調査票

男女共同参画に関するアンケート

本市では、女性も男性もその性別にこだわることなく、それぞれの個性と能力を発揮し、家庭、地域、職場などあらゆるところに共に参画し、責任を担いあう社会、『男女共同参画社会』の実現を目指しております。

この度、今後の施策推進の参考とさせていただくため、市民意識調査を行うことといたしました。つきましては、お忙しいところたいへん恐縮ですが、ご協力いただきますようお願いいたします。

すべての方にお伺いします。

〔問1〕あなたは「静岡市男女共同参画推進条例」について、どの程度知っていますか。

(○は1つ)

- | | |
|---|---------------------|
| 1 | 条例の理念やおおよその内容は知っている |
| 2 | 名称は知っている |
| 3 | 知らない |

〔問2〕あなたは、次の分野で男女は平等になっていると思いますか。

(項目ごとに○は1つずつ)

	1 男性が非常に優遇	2 どちらかといえば男性が優遇	3 平等	4 どちらかといえば女性が優遇	5 女性が非常に優遇	6 わからない
(1) 家庭生活で	1	2	3	4	5	6
(2) 職場で	1	2	3	4	5	6
(3) 学校教育の場で	1	2	3	4	5	6
(4) 地域で(自治会・自主防災会・NPOなど)	1	2	3	4	5	6
(5) 政治の場で	1	2	3	4	5	6
(6) 法律や制度の上で	1	2	3	4	5	6
(7) 社会通念・慣習・しきたりなどで	1	2	3	4	5	6
(8) 社会全体として	1	2	3	4	5	6

〔問3〕 あなたは「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」について、どの程度知っていますか。（○は1つ）

- | |
|------------------|
| 1 言葉と意味の両方を知っている |
| 2 言葉は知っている |
| 3 知らない |

〔問4〕 あなたが1日に行う家事（育児や介護を含む）の時間と、仕事（収入を得るための労働）の時間は、それぞれ平均どの位ですか。（ ）内に時間をお書きください。（数値を記入）

1 家事（1日平均）	（ ）時間（ ）分
2 仕事（1日平均）	（ ）時間（ ）分

〔問5〕 一般的に女性が職業を持つことについて、どう考えますか。（○は1つ）

- | |
|--------------------------------------|
| 1 女性は職業をもたない方がよい |
| 2 結婚するまで職業をもつほうがよい |
| 3 子どもができるまでは、職業をもつほうがよい |
| 4 子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつほうがよい |
| 5 ずっと職業を続けるほうがよい |
| 6 わからない |
| 7 その他（ ） |

〔問6〕 男性が「育児休暇」や「介護休暇」を取ることに、どう思いますか。（○は1つ）

- | | | |
|--------|--------|-------------|
| 1 賛成する | 2 反対する | 3 どちらともいえない |
|--------|--------|-------------|

〔問7〕 社会における女性の活躍状況について、国際機関が各国を順位づけしていることを知っていますか。（○は1つ）

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

〔問 8〕 自分や知り合いが※1 DV や※2 セクハラ被害に遭ったとき、どこに相談すればよいか知っていますか。（○は1つ）

- | |
|--------------------------------|
| 1 DV被害の相談先もセクハラ被害の相談先も、両方知っている |
| 2 DV被害の相談先のみ知っている |
| 3 セクハラ被害の相談先のみ知っている |
| 4 どちらも知らない |

※1 DV・・・配偶者からの暴力（ドメスティック・バイオレンス）

※2 セクハラ・・・性的いやがらせ（セクシュアル・ハラスメント）

〔問 9〕 女性のからだには妊娠や出産のための仕組みが備わっており、さまざまな女性特有の問題を心身に抱え込みがちです。そのため女性の健康と自らそれを守る権利に対し周囲の理解が求められていますが、あなたはそれについてどう思いますか。（○は1つ）

- | | | |
|------------|------------|-------------|
| 1 十分に配慮すべき | 2 少しは配慮すべき | 3 配慮は特に必要ない |
|------------|------------|-------------|

〔自由記載〕 男女共同参画に関してご意見がございましたら、ご自由にお書きください。
